「ゾイドは永久に進化し続ける金属生命体」



商品紹介などはZOIDS40周年特設ページをチェック!!

www.takaratomy.co.jp/products/zoids40th/



X（エックス）公式アカウント
「ZOIDS【公式】」をフォロー！
@zoids_official



商品動画などは「タカラトミー公式ホビーチャンネル」をチェック!!
https://www.youtube.com/@TAKARATOMYHOBBY



株式会社 タカラトミー

〒124-8511 東京都葛飾区立石 7-9-10

タカラトミーでは「子どもたちに安全で楽しいおもちゃと夢を」を第一に考えております。そのため、常に製品に対し研究、改良を行っており、お買い上げ時期によって同一製品の中にも多少異なるものや、パッケージの写真やイラストなどと異なる場合がございますがご了承ください。製品につきましては、万全の注意をはらって製造に当たっておりますが、万一お気付きの点がございましたら下記までご連絡ください。

タカラトミーグループ お客様相談室 おかけ間違えのないようご注意ください

製品の修理などについては下記お客様相談室までお問い合わせください

0570-041031 電話受付時間 10～17時
月曜日～金曜日（土日・祝日を除く）

タカラトミーサポート 検索

本製品のお客様サポートは日本国内でのご購入かつ日本国内からのお問い合わせに限ります。
(Customer service is only available in case this product purchased in Japan and inquired from Japan domestic.)

●たのしいタカラトミーの情報はインターネットで www.takaratomy.co.jp

ZOIDS

TAKARA TOMY

40th ANNIVERSARY

対象年齢15才以上

EZ-016 SABER TIGER

TIGER TYPE セイバータイガー（タイガー型） 1/72 SCALE AZ-05

■取扱説明書■



EZ-016
SABER TIGER

MOTORIZED MODEL
REQUIRES 2 LR03 ("AAA"SIZE) BATTERIES (NOT INCLUDED)
単4形アルカリ乾電池2本使用（電池は別売りです）

この度は、タカラトミー「AZ-05 セイバータイガー」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、読み終わった後は、必ず保管しておいてください。

※写真、イラストは実際の商品と多少異なる場合があります。※写真は、撮影用に一部彩色、加工をしています。

© TOMY ©ShoPro

⚠ 注　意（ちゅうい）

●この商品は対象年齢15才以上です。小さなお子様には絶対に与えないでください。
●小さな部品があります。誤って飲み込むなど思わぬ事故の危険がありますので小さなお子様には絶対に与えないでください。
●尖っている部品があります。取り扱いには十分注意してください。
●付属の武器で人をつつく、たたく等の乱暴な遊びをしないでください。
●関節などに指をはさまないようご注意ください。
●ぶつけたり、振り回すなどの乱暴な遊びをしないでください。
●可動部のスキマには指などを入れないでください。はさまれてケガをする恐れがあります。
●部品はきれいに切り取り、切り取った後のクズは捨ててください。
●プラスチック袋などを頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
●思わぬ事故の恐れがありますので、ご使用後は3才未満のお子様の手の届かない所に保管してください。
●CAP（S）は絶対に耳や鼻などに入れないでください。

〈使用上の注意〉
○ご使用の前に取扱説明書をよくお読みください。また読み終わった後は必ず保管しておいてください。
《電池を誤使用すると発熱・破裂・液漏れの恐れがあります。下記に注意してください。》
・古い電池と新しい電池、いろいろな種類の電池をまぜて使わないでください。
・＋ー（プラス・マイナス）を正しくセットしてください。
・遊んだ後は必ずスイッチを切り、電池をはずしてください。
・ショートさせたり、充電、分解、加熱、火の中に入れないでください。
・万一、電池からもれた液が目に入ったときは、すぐに大量の水で洗い、医師に相談してください。
皮膚や服に付いたときは水で洗ってください。
・廃棄するときは、自治体の廃棄物処理の指示に従ってください。
○取り付け部を無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。
○本体をディスプレイする時は、本体が倒れる恐れがありますので不安定な場所にディスプレイしないでください。
○本体を持ち運ぶ際は、頭部・脚・尻尾や取り付けた部品などを持たず、本体の胴体部をしっかりと持って持ち運んでください。
○製品の仕様上、可動させた際に色が移ったり、彩色部が剥がれたりする場合があります。その点につきましては予めご了承ください。
○本製品を樹脂製の家具等の上に長時間置くと色が移ったり、貼り付いたりする場合があります。
○ニッパーやカッターなどの工具を使う時は注意してください。
○包装材は、開封後すぐに捨ててください。

組み立てる前によくお読みください

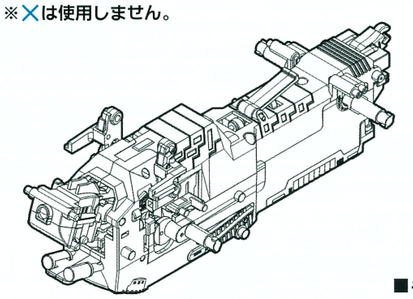
・必ず説明書の組み立て順にそって必要な部品から切り離してください。
正常に動かず、破損等の原因になります。

・組み立てる前に取扱説明書をよく読んでください。
・部品を切り離す時には、部品をよく確かめ、ニッパーやカッター等できれいに切り離してください。部品を切り離した枠（ランナー）は捨ててください。
・部品を加工する際に使用する、工具、刃物、塗料、接着剤等のご使用の際はそれぞれの取扱説明書をよく読んでから正しく使用してください。
・部品の中には、尖った部品がありますので気を付けて組み立ててください。
・塗装する時は、より安全な水性塗料のご使用をおすすめします。
・塗装する時は、必ず窓を開け換気をしてください。
・塗装する時は、火気は絶対に使わないでください。
※接着剤は使用しません。
※パーツの切り取りや小部品の取り付け等にはニッパー、ピンセットをご利用ください。

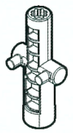
セット内容

■ランナー一式（20）×1　■パイロットフィギュア×1（ランナーOに付属）　■キャップレンチ×1　■取扱説明書（本書）×1
■動力部ユニット×1　■尻尾パーツ×1（塗装済みパーツ）　■ディスプレイスタンド（台座）×1　■ラベル×1

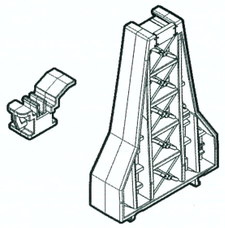
※ランナー図は実際の商品と多少異なる場合がありますが、パーツの位置は変わりません。組み立てには支障ありません。
※✕は使用しません。



■動力部ユニット×1



■キャップレンチ×1

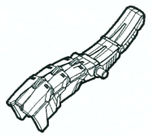




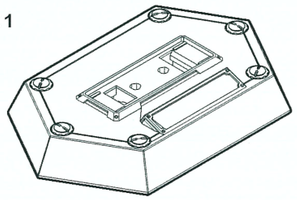
■ラベル×1
※ラベルはパッケージ及び取扱説明書（本書）22ページを参考にお貼りください。
又は、お好きな所にお貼りください。



■パイロットフィギュア×1
※ランナーOに付属しています。
※画像は取り外した状態です。

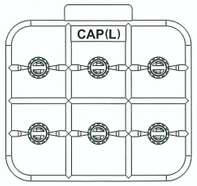


■尻尾パーツ×1
（塗装済みパーツ）

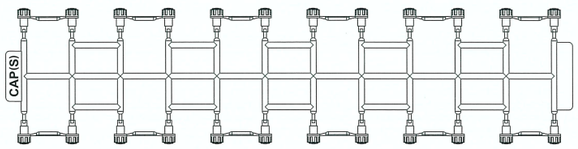


■ディスプレイスタンド（台座）×1
（3パーツ構成）

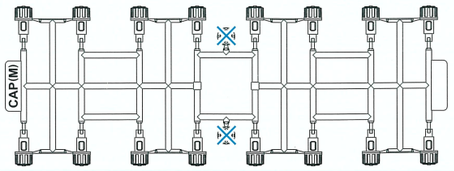
※CAP（L）×4（予備×2）



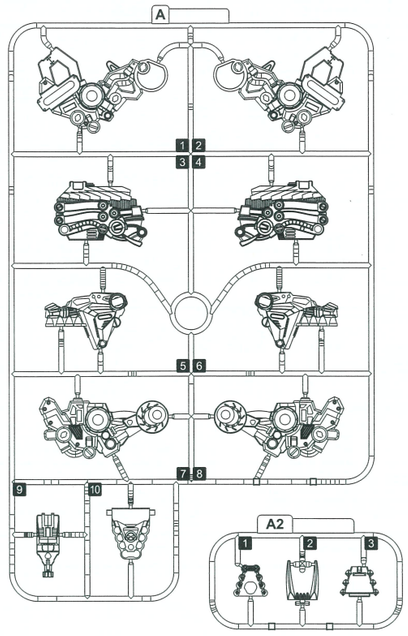
※CAP（S）×24（予備×8）

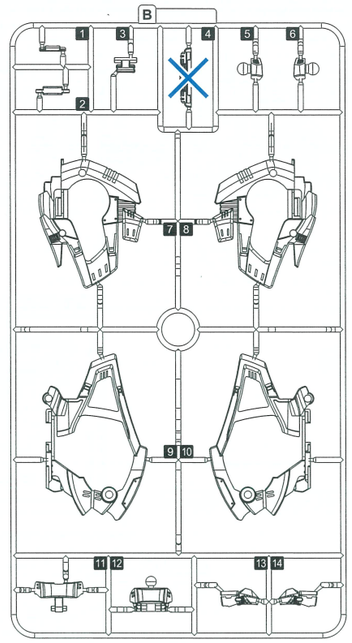


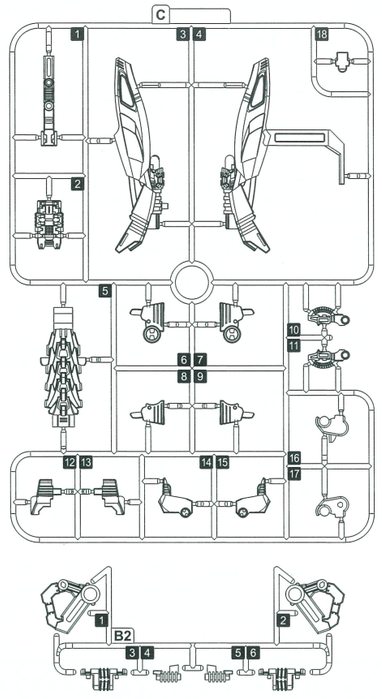
※CAP（M）×16（予備×4）

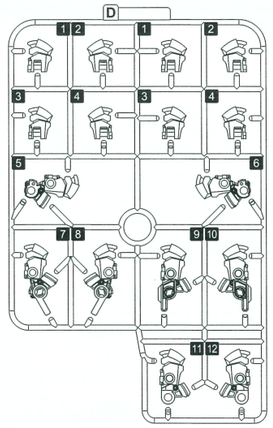


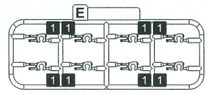
※ランナー図は実際の商品と多少異なる場合がありますが、パーツの位置は変わりません。組み立てには支障ありません。　※✕は使用しません。

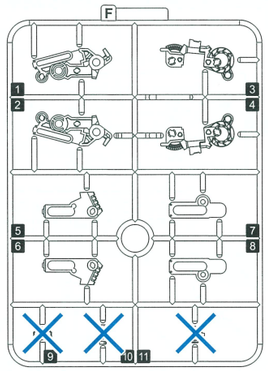


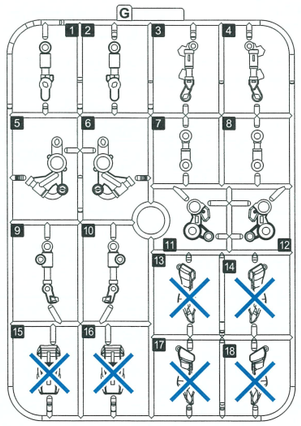


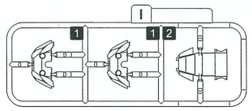


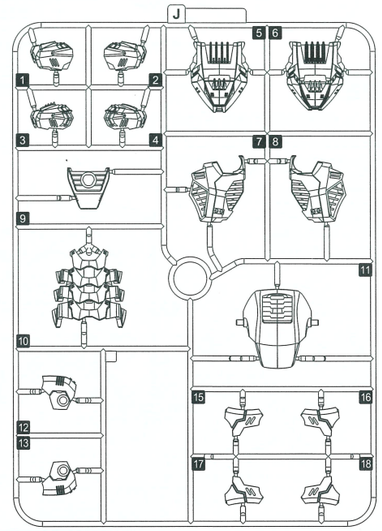


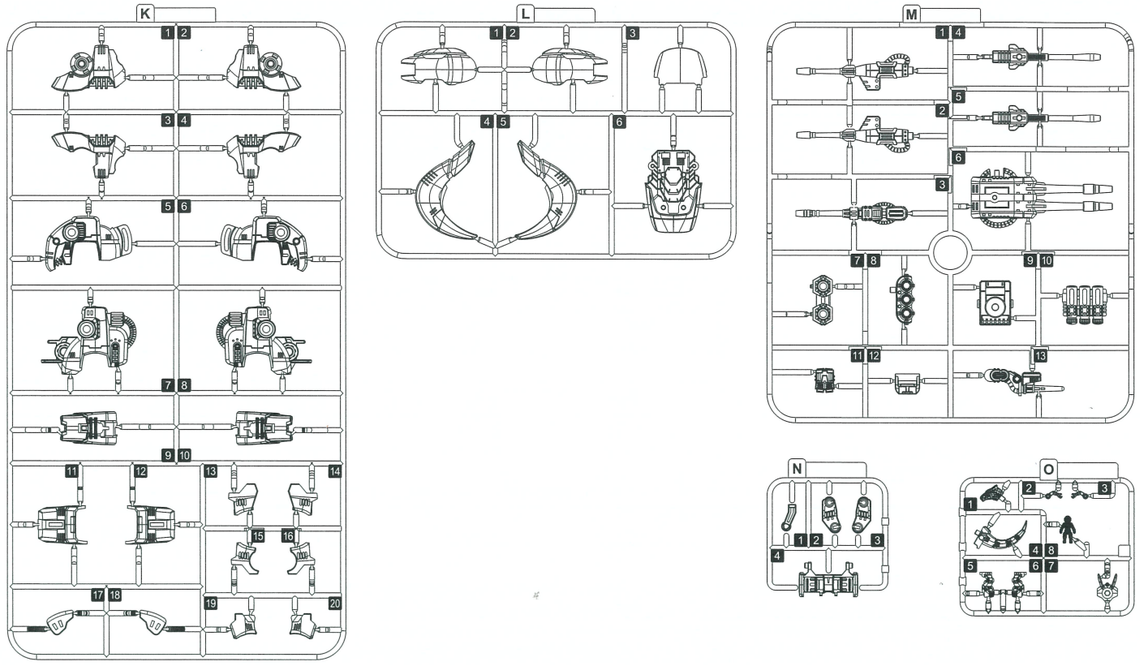






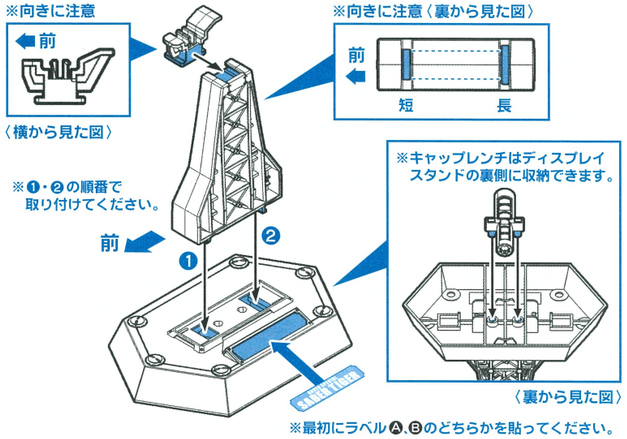






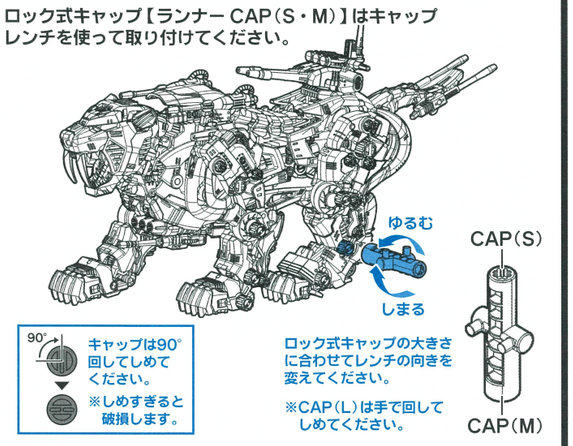
組み立てる前の準備【本体を組み立てる前に、以下を確認してください。】

ディスプレイスタンドの組み方



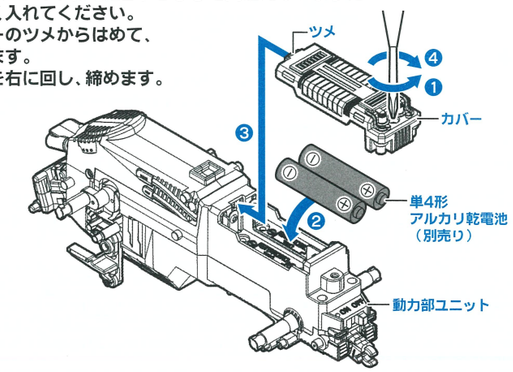
ロック式キャップの付け方

ロック式キャップ【ランナー CAP（S・M）】はキャップレンチを使って取り付けてください。



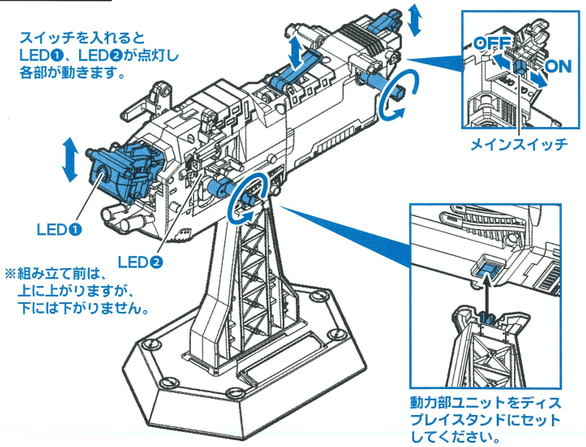
電池の入れ方

①動力部ユニットのネジをプラスドライバーで左に回し、ネジをゆるめカバーを外します。
②単4形アルカリ乾電池2本を⊕⊖を間違えないように正しく入れてください。
③カバーのツメからはめて、閉じます。
④ネジを右に回し、締めます。



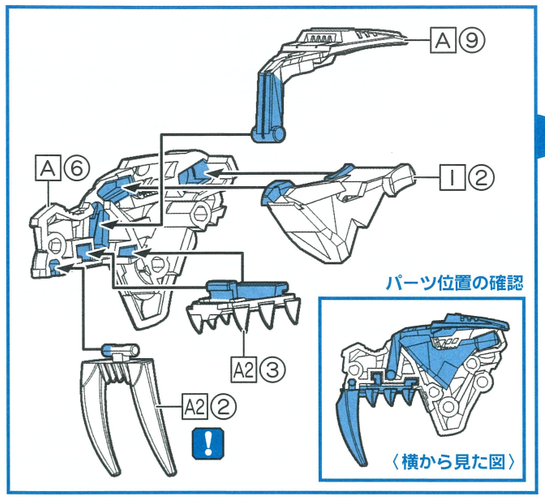
動作の確認

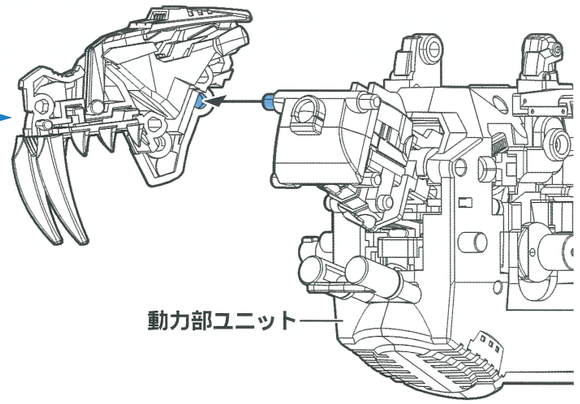
メインスイッチを入れ、各部が図のように動作するか確認してください。



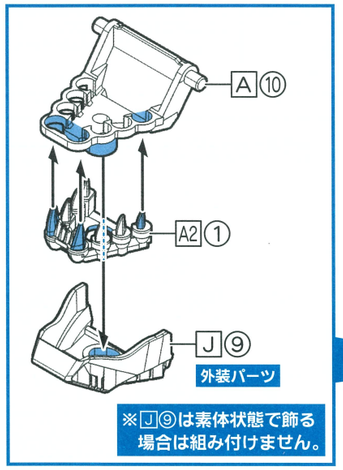
1 頭部の組み方1

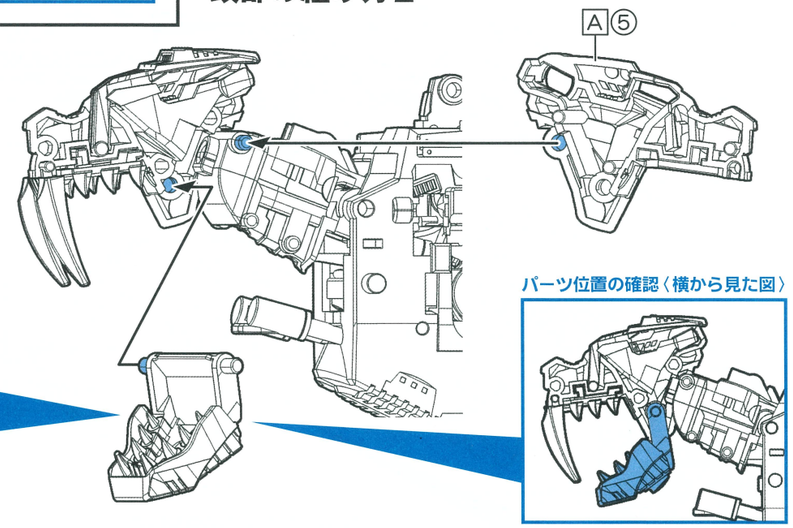
※A②はきれいに切り取らないと、動きに支障をきたします。



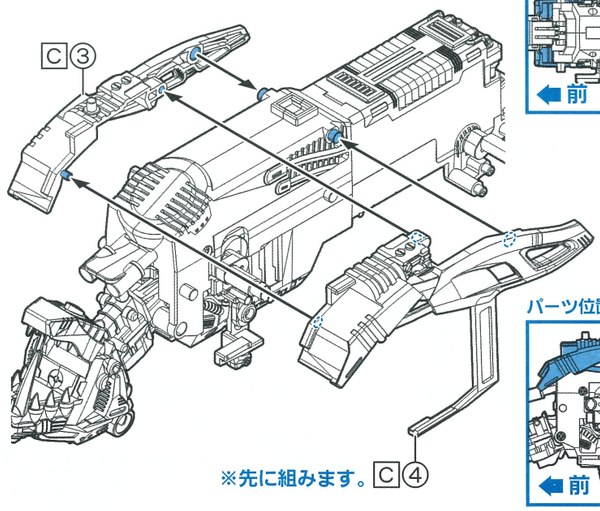


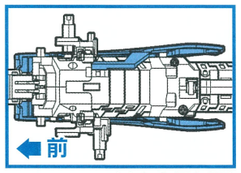
頭部の組み方2

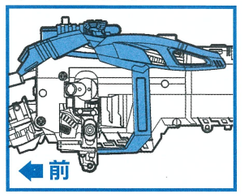




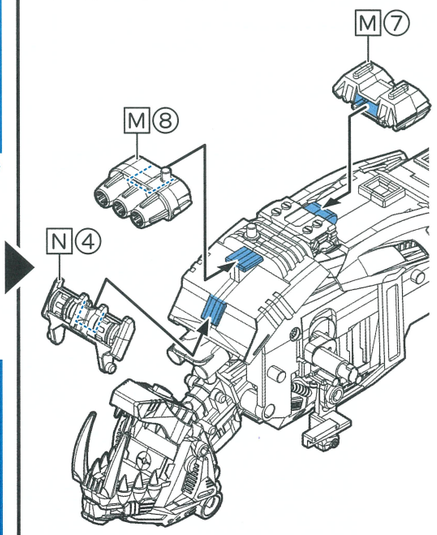
2 胴体の組み方1〈動力部裏側〉



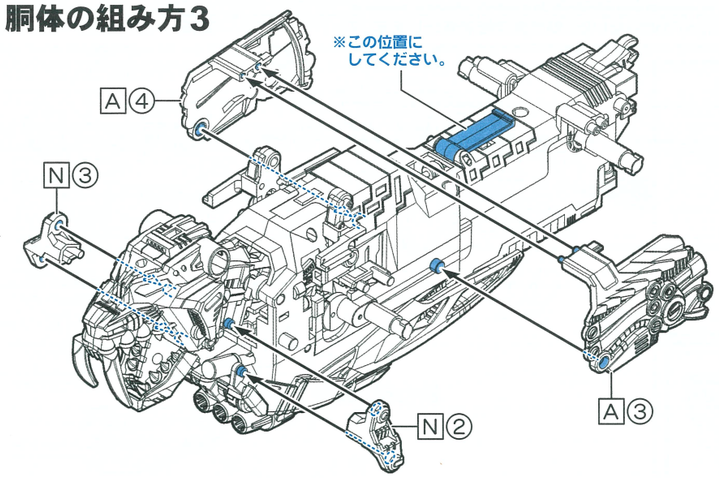




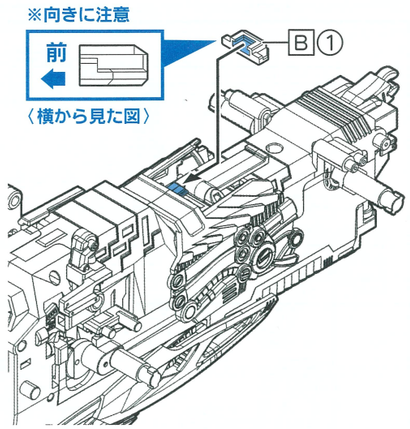
胴体の組み方2



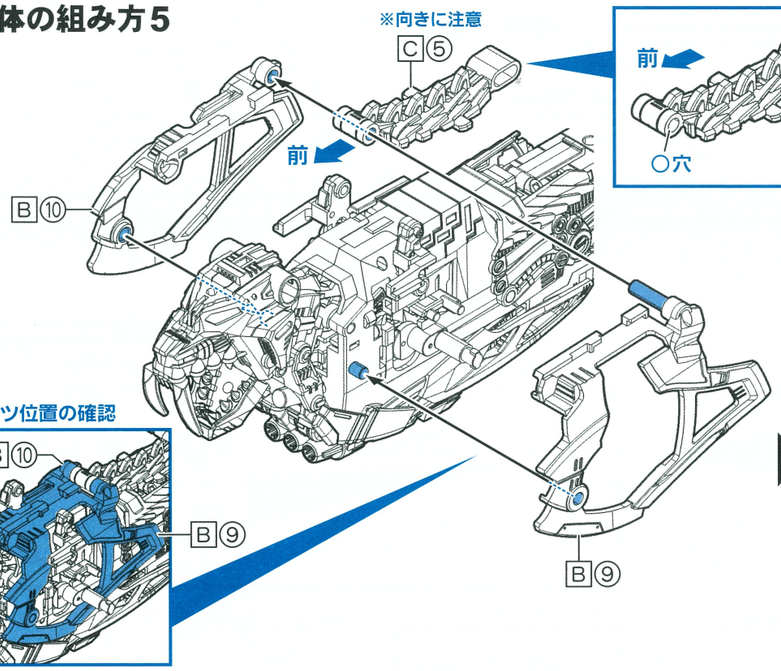
胴体の組み方３

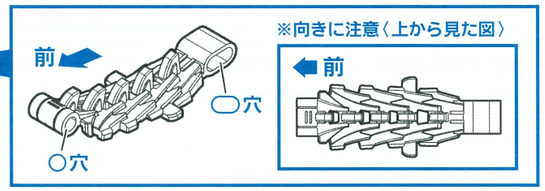


胴体の組み方４

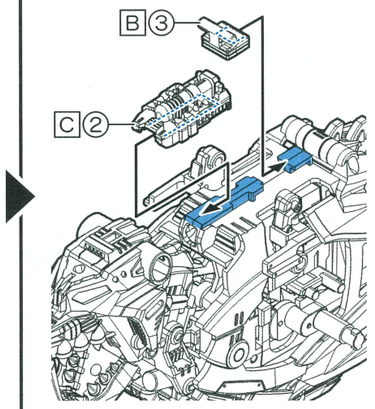


胴体の組み方５

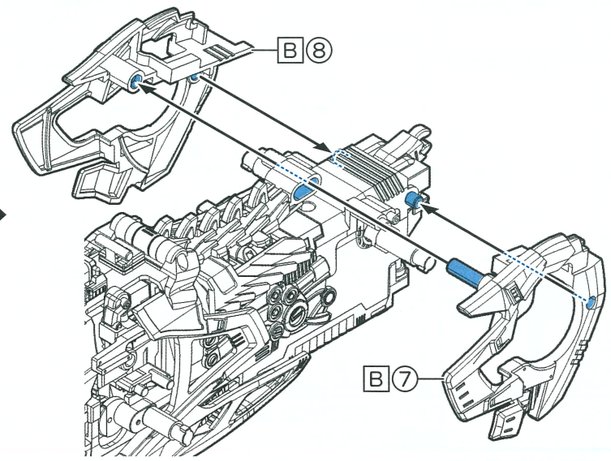




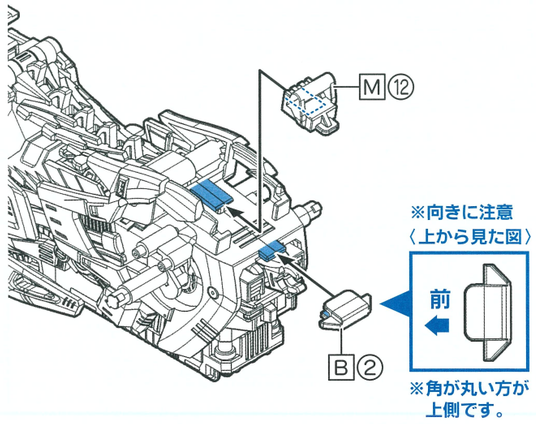
胴体の組み方６



胴体の組み方７

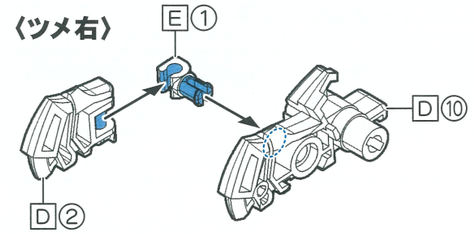


胴体の組み方８

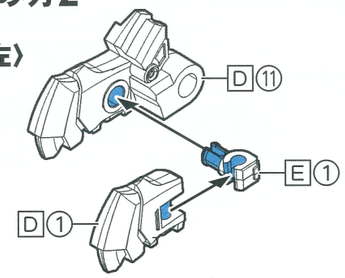


3

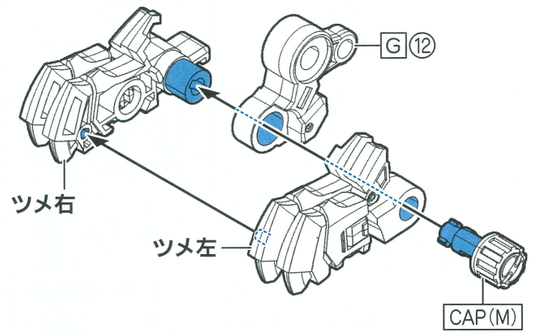
左前脚の組み方１



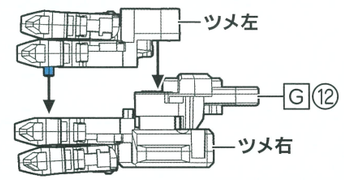
左前脚の組み方２



左前脚の組み方３



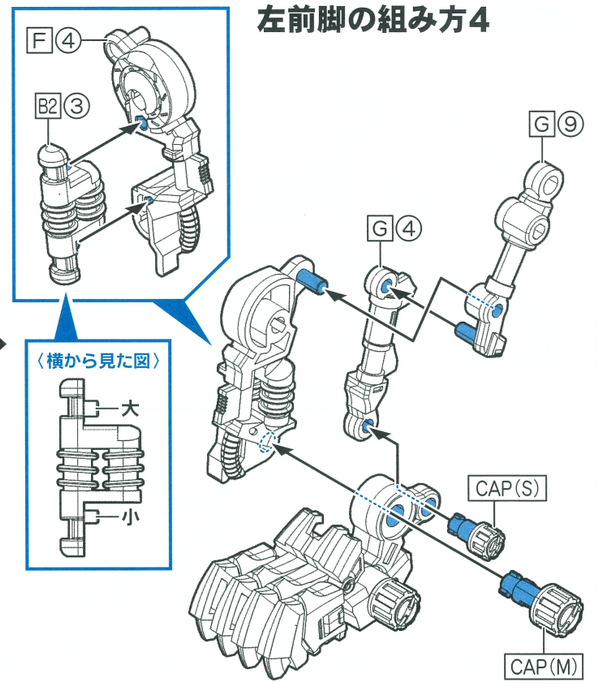
〈下から見た図〉



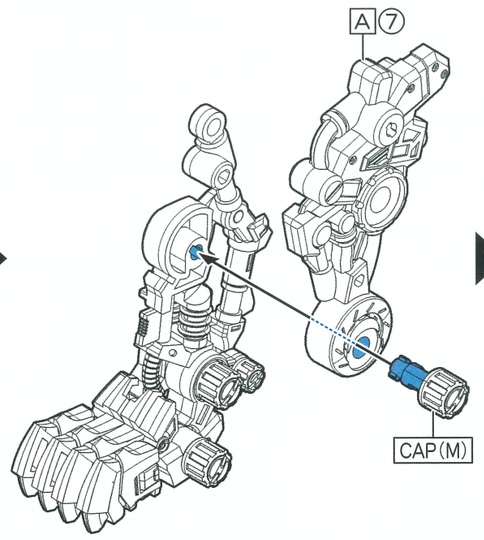
取り付けにはキャップレンチを使います。

※3ページ（ロック式キャップの付け方）をご覧ください。

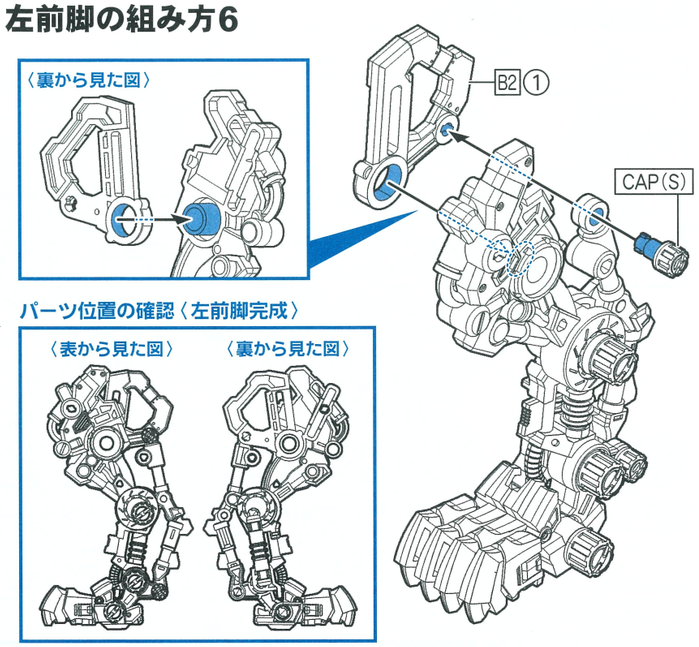
左前脚の組み方４



左前脚の組み方５

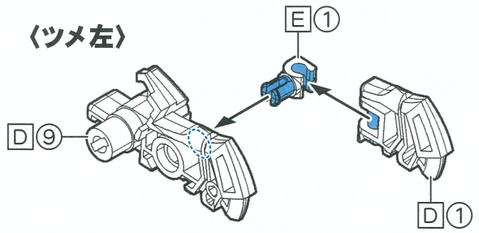


左前脚の組み方６

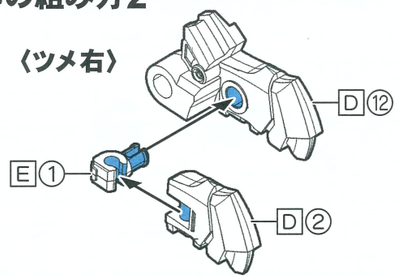


パーツ位置の確認〈左前脚完成〉

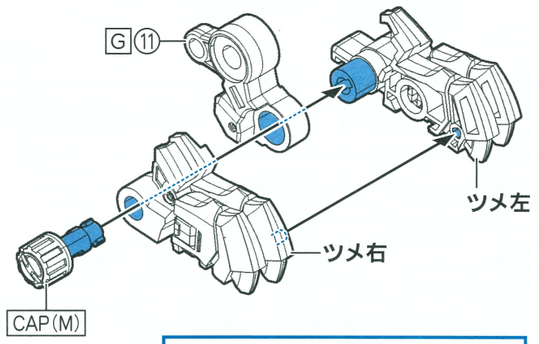
4 右前脚の組み方1



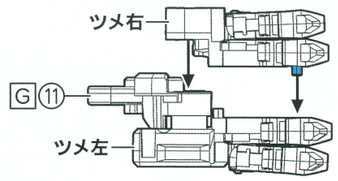
右前脚の組み方2



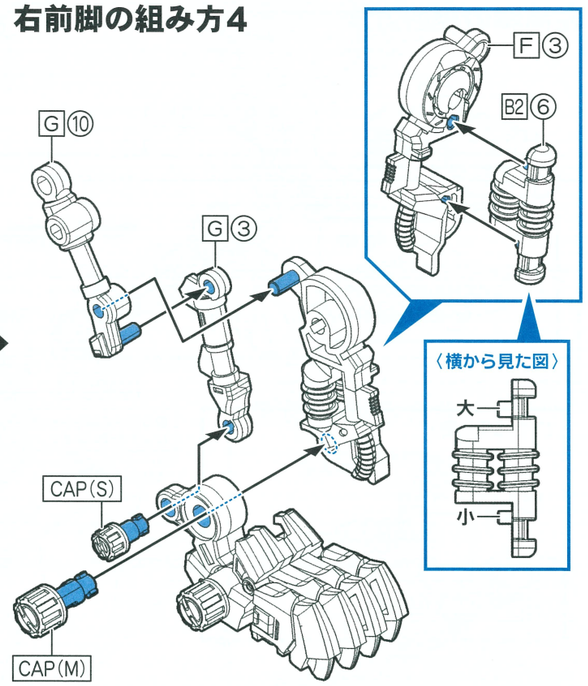
右前脚の組み方3



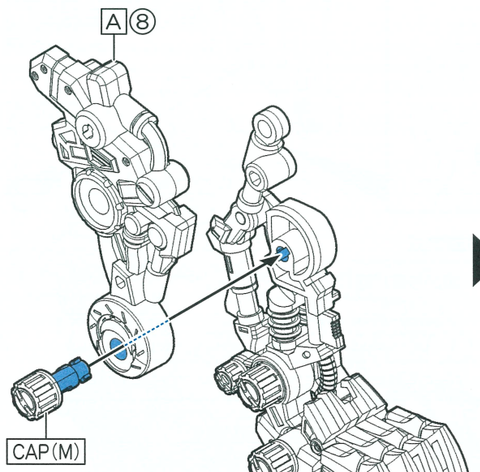
〈下から見た図〉



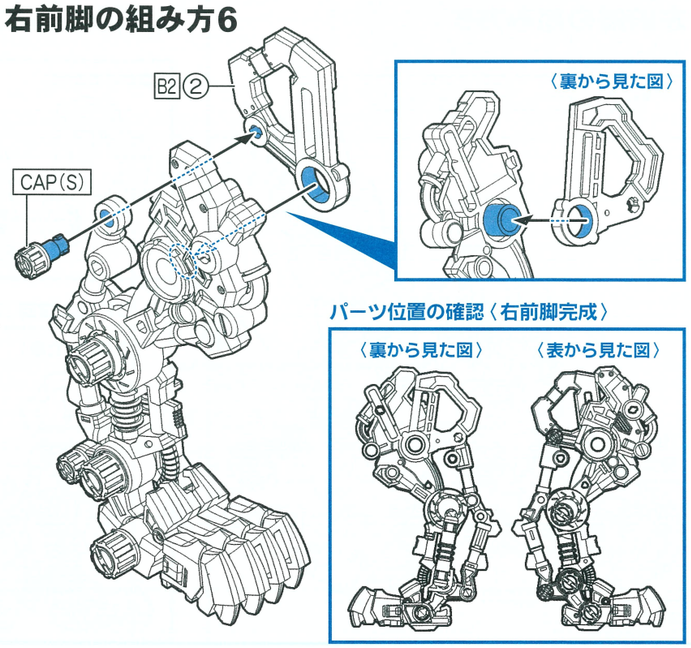
右前脚の組み方4



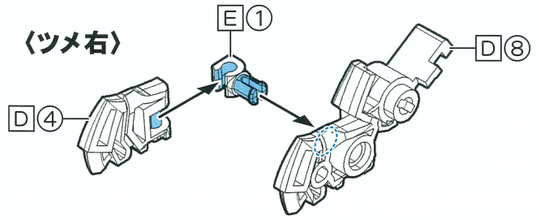
右前脚の組み方5



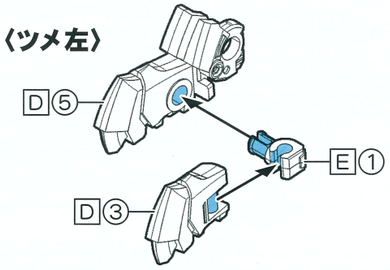
右前脚の組み方6



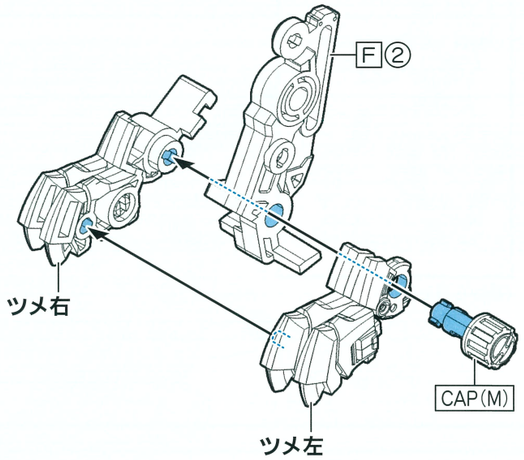
5 左後脚の組み方1



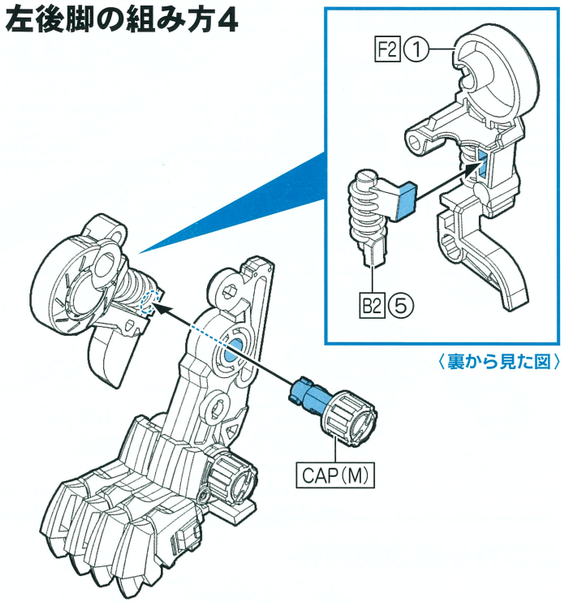
左後脚の組み方2



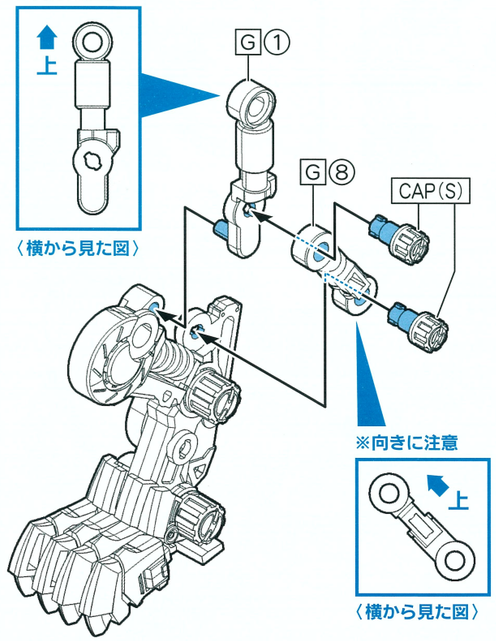
左後脚の組み方3



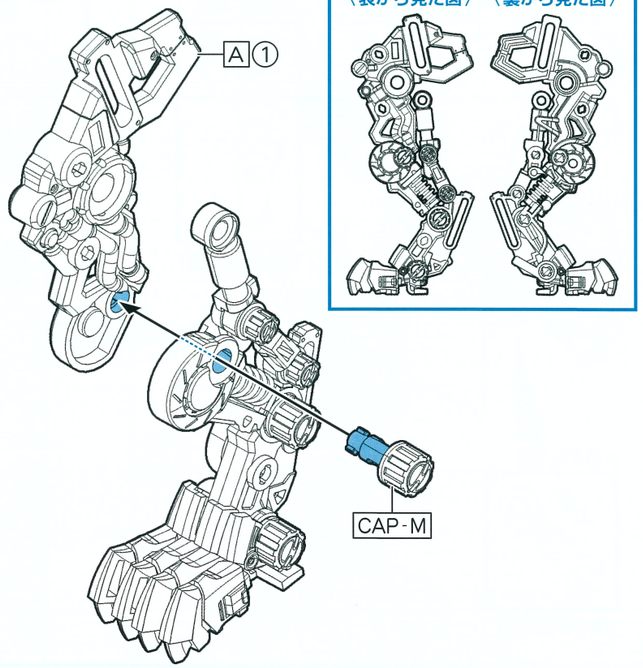
左後脚の組み方4



左後脚の組み方5

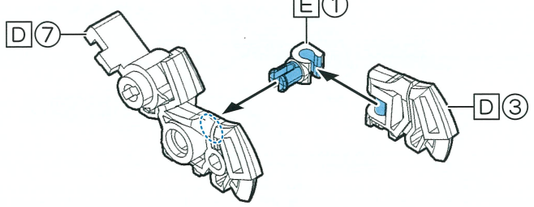


左後脚の組み方6



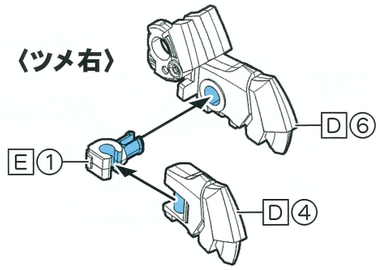
6 右後脚の組み方1

〈ツメ左〉

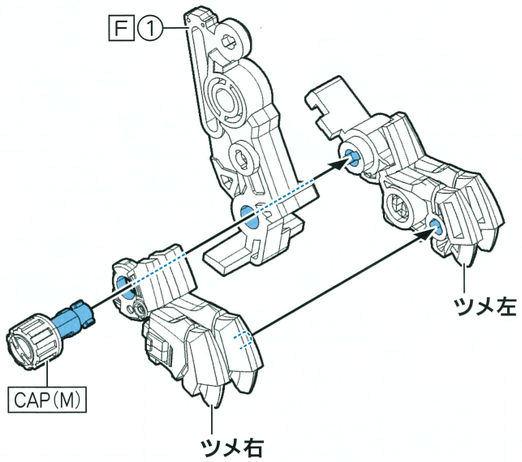


右後脚の組み方2

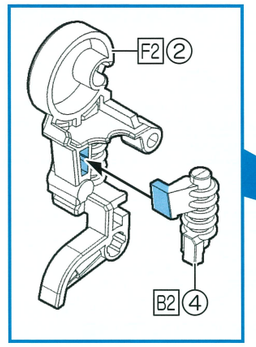
〈ツメ右〉



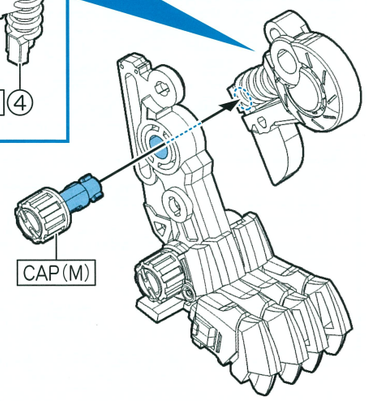
右後脚の組み方3



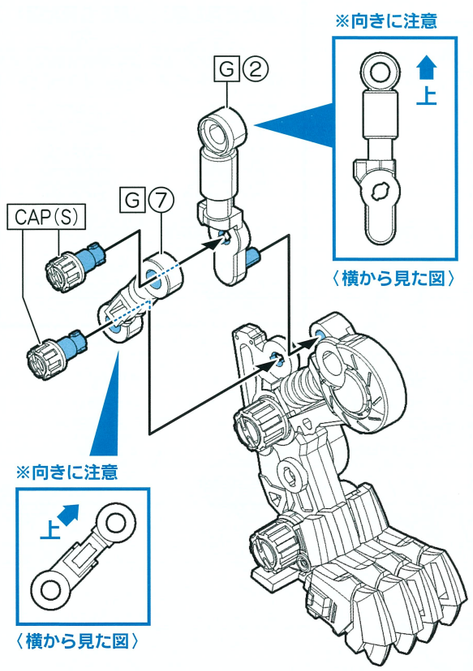
右後脚の組み方4



〈裏から見た図〉



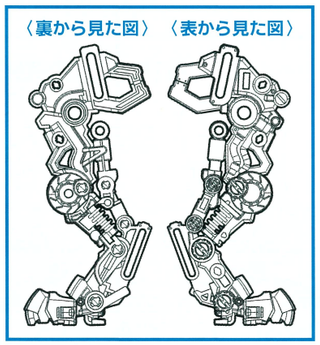
右後脚の組み方5



〈横から見た図〉

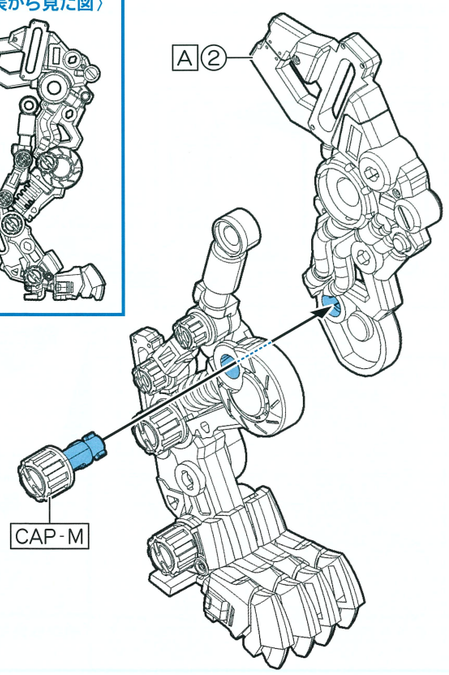
〈横から見た図〉

パーツ位置の確認〈右後脚完成〉

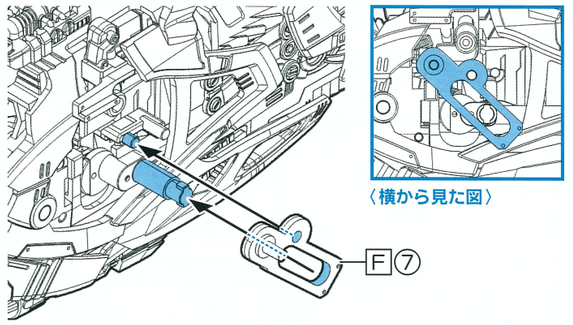


〈裏から見た図〉 〈表から見た図〉

右後脚の組み方6

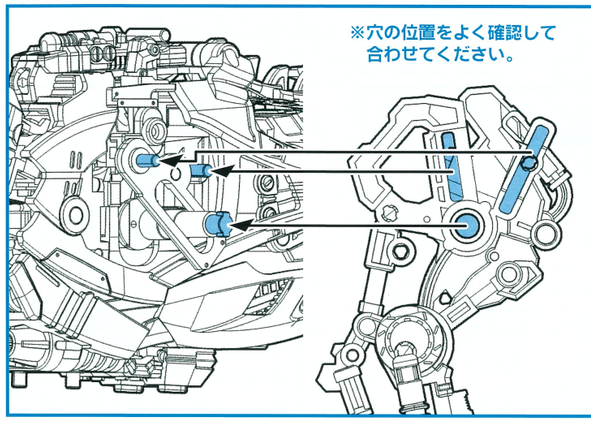


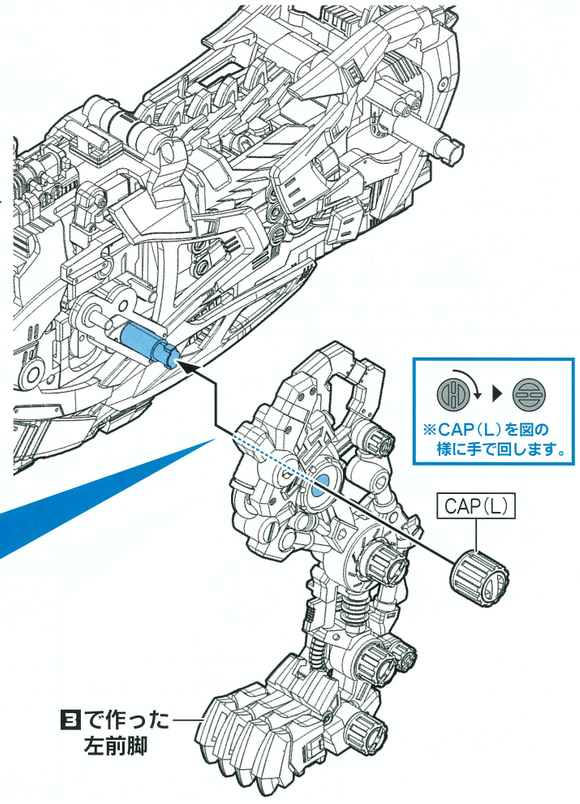
7 左前脚の取り付け1



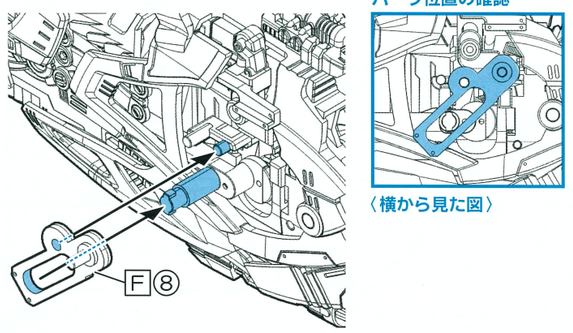
〈横から見た図〉

左前脚の取り付け2



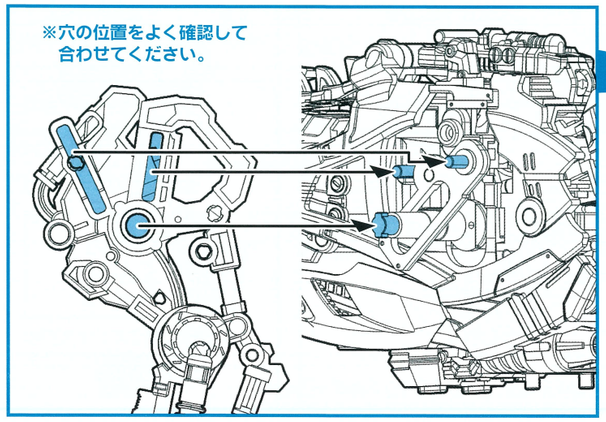


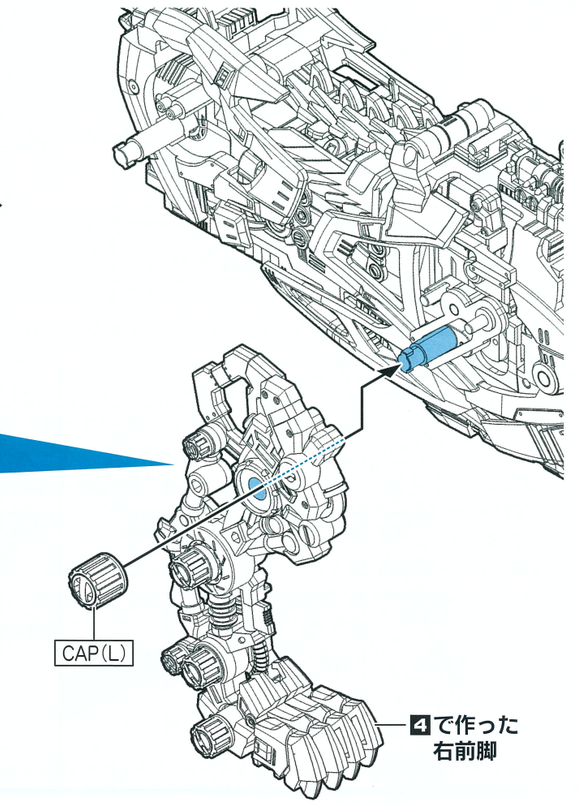
8 右前脚の取り付け1



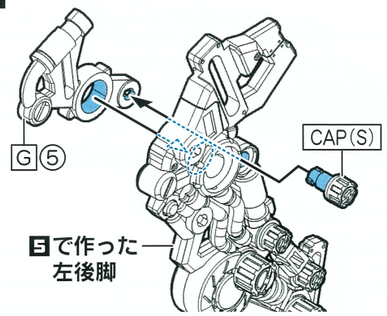
〈横から見た図〉

右前脚の取り付け2

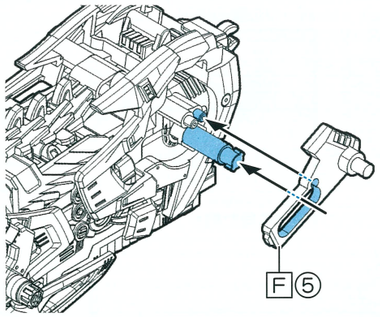




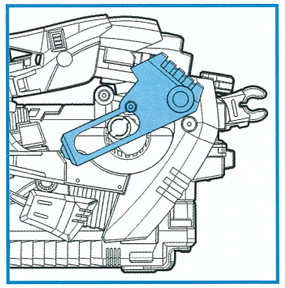
9 左後脚の取り付け1



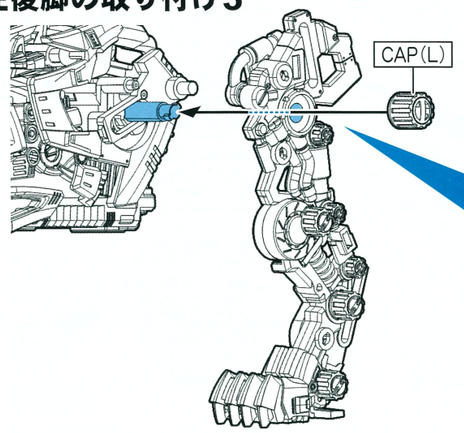
左後脚の取り付け2



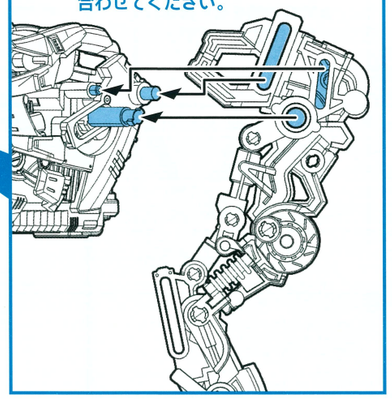
パーツ位置の確認〈横から見た図〉



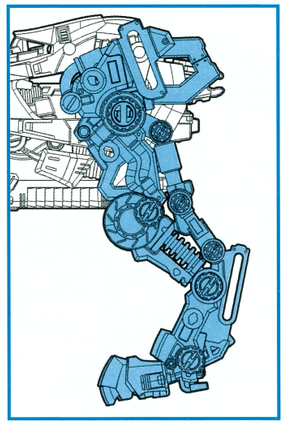
左後脚の取り付け3



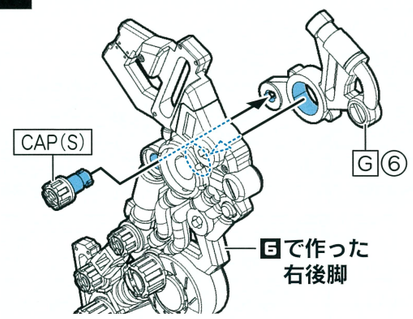
※穴の位置をよく確認して
合わせてください。



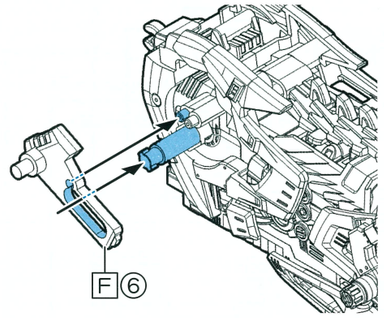
パーツ位置の確認〈横から見た図〉



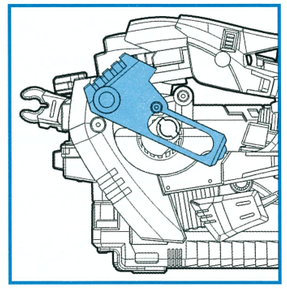
10 右後脚の取り付け1



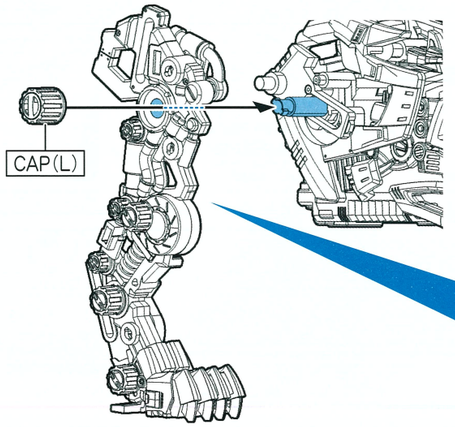
右後脚の取り付け2



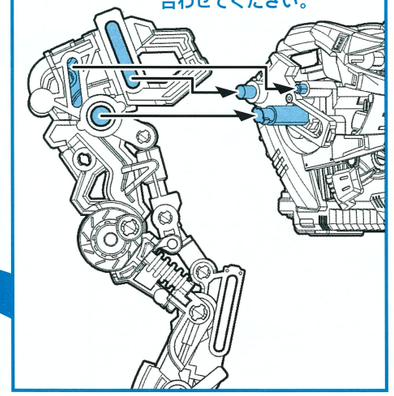
パーツ位置の確認〈横から見た図〉



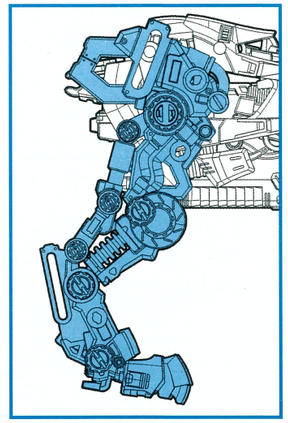
右後脚の取り付け3



※穴の位置をよく確認して
合わせてください。

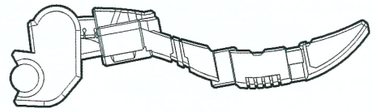


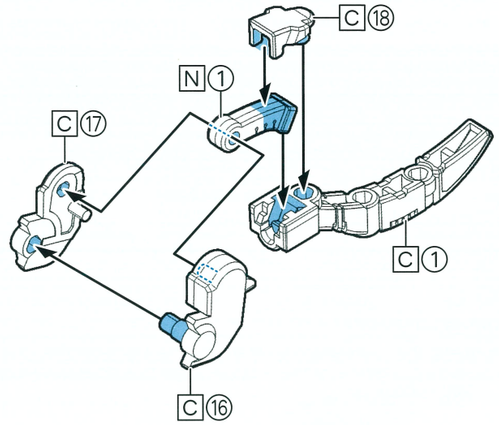
パーツ位置の確認〈横から見た図〉



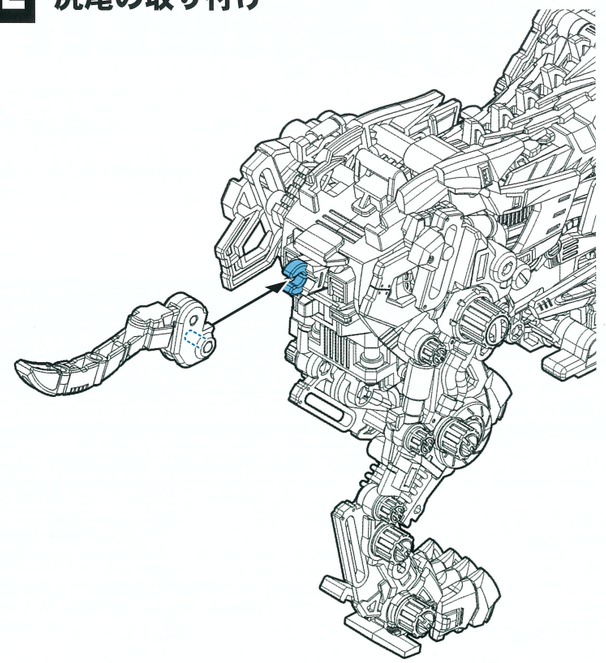
11 尻尾の組み方

パーツ位置の確認〈横から見た図〉



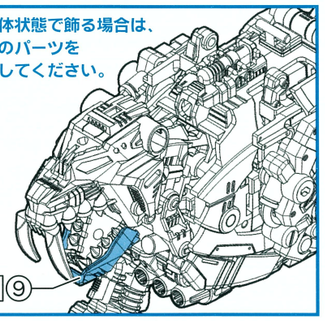


12 尻尾の取り付け

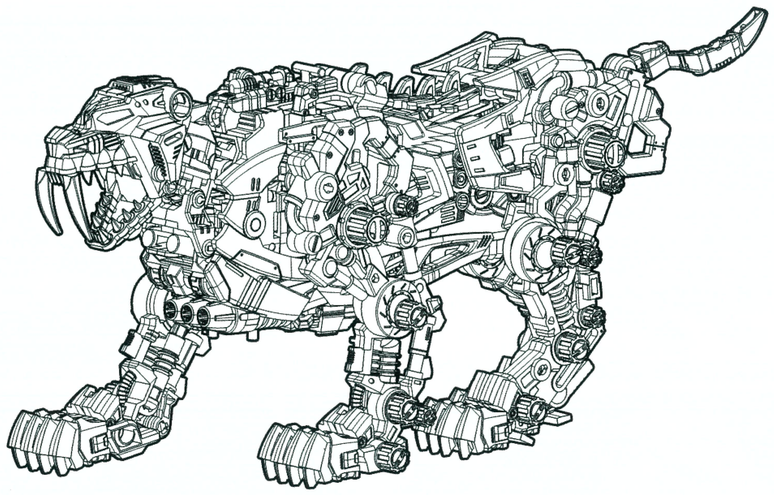


13 素体状態完成

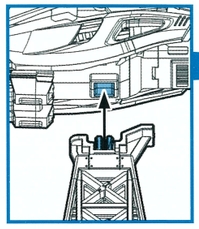
※素体状態で飾る場合は、
図のパーツを
外してください。



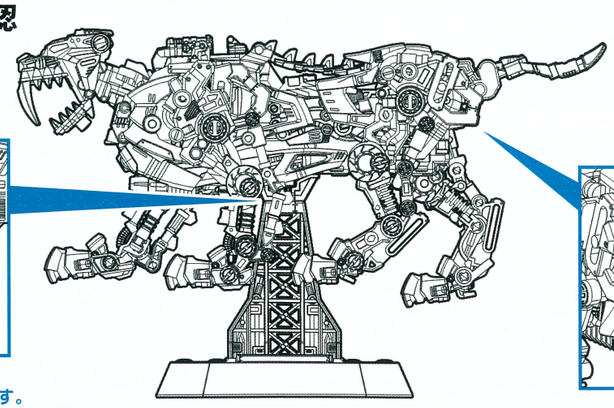
※取り外す時、きつくて外せないようなパーツは細いマイナスドライバー等でゆっくりこじ開けるようにすると上手に取り外せます。

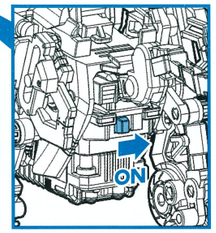


14 動作の確認



本体をディスプレイ
スタンドにセットします。





スイッチを入れると、
目とゾイドコア（胸）
が点灯し、歩行の動作
をします。

※組み方を間違えて歩行させると、破損する恐れがあります。必ずディスプレイスタンドに乗せて動作の確認をしてください。
※動きがスムーズでない場合はすぐにメインスイッチを切り、脚部等の部品の組み立てが正しいか再度確認してください。

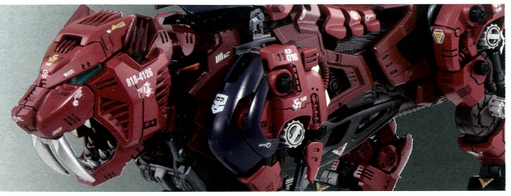
EZ-016 SABER TIGER TIGER TYPE

セイバータイガー（タイガー型）

40th ANNIVERSARY ZOIDS

「40th ANNIVERSARY ZOIDS」とは、1983年の誕生以来、守り続けてきた不変のプロダクトコンセプトである「唯一無二のメカデザイン」・「自ら生み出す作る楽しみ」・「動く躍動する生命感」の極限を目指すと共に、40年の歴史で積み上げられた、技術の研磨と進化への挑戦が注ぎ込まれたゾイド40年の集大成となるプロダクトである。

ゾイドを新たな未来へと導く。

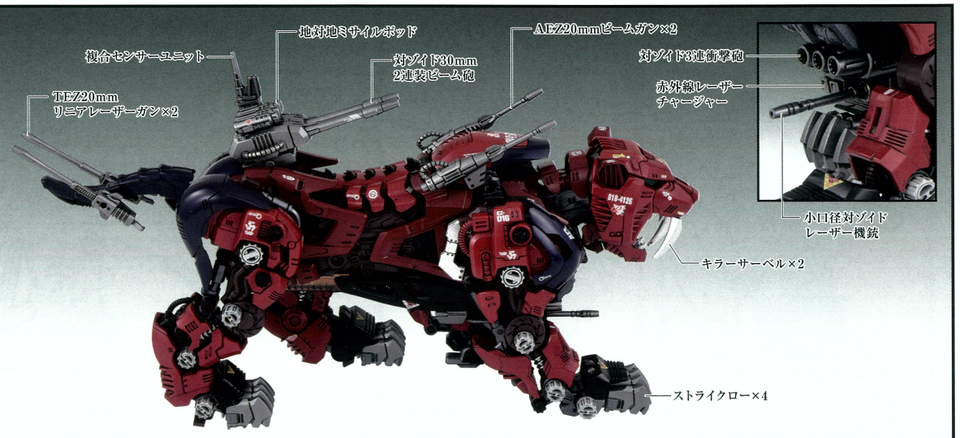


SPEC DATA

EZ-016
SABER TIGER

WEAPONS

- ■キラーサーベル×2
- ■AEZ20mmビームガン×2
- ■対ゾイド30mm2連装ビーム砲
- ■地対地ミサイルポッド
- ■複合センサーユニット
- ■TEZ20mmリニアレーザーガン×2
- ■対ゾイド3連衝撃砲
- ■小口径対ゾイドレーザー機銃
- ■赤外線レーザーチャージャー
- ■ストライクロー×4



EXPLANATION

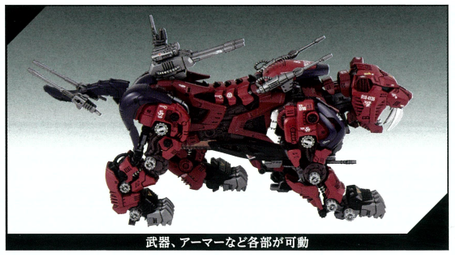
ガイロス帝国の主力大型高速ゾイド、それがセイバータイガーである。様々なバリエーションが存在し、背中に大型の追加装備アサルトユニットを装着した機体も存在する。黒いオーガノイド・シャドーを引き連れた少年兵レイヴンに与えられた機体は通常型のセイバータイガーで、カラーリングを除けば帝国軍の標準的な仕様と特別な差異はない。主武器となるのは二本の鋭い「キラーサーベル」と四肢の「ストライクロー」、そして背中の「対ゾイド30mm2連装ビーム砲」である。「地対地ミサイルポッド」や「対ゾイド3連衝撃砲」も共和国の小型のゾイドには大きな脅威で、火器を収納式としたシールドライガーと比べて火力で勝っている。この機体はレイヴンの卓越した操縦技術により、クロノス砦を巡る戦いで小型のゾイドの大部隊を次々と葬った。またシャドーと合体することで、E-シールドを展開したバンのシールドライガーを圧倒するのほど力を見せ、ジークに瀕死の重傷を負わせた。しかし成長したバンとの戦いの中、ゾイドを顧みないレイヴンの操縦によって本機は失われたのだった。


モーター駆動によりネコ科の動物のモーションを再現したリアルな歩行


※写真はアーマーを外した状態です。
目やゾイドコアの点灯による生命感の演出


※実際の製品
レイヴンのフィギュアが付属
※写真は撮影用に塗装したものです。


「威嚇顔」のパーツが付属し、換装可能

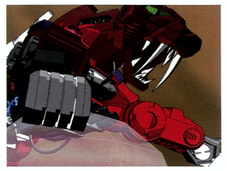

武器、アーマーなど各部が可動


オーガノイド シャドーのフィギュアが付属
※写真は撮影用に塗装したものです。

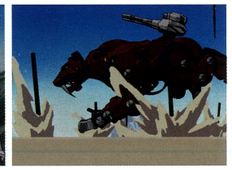


ゾイド -ZOIDS-（1999年-2000年放送）STORY

自ら戦う意思を持った金属生命体ゾイドが、最強兵器として君臨する惑星Zi。レッドリバーを挟んでヘリック共和国軍とにらみ合いを続けていたガイロス帝国軍は、元帥プロイツェンの命令の下、ついに侵攻を開始する。黒いオーガノイド・シャドーを伴った少年レイヴンはプロイツェンの直属として、セイバータイガー単機でクロノス砦周辺の共和国部隊を壊滅させた。そして偶然出会った少年バンのシールドライガーと交戦したレイヴンは、これを一蹴する。バンとその仲間のアーバインによる再三の挑戦を退けたレイヴンだったが、ヘリック湾の戦いでハーマン大尉のアドバイスを受けたバンに動きのクセを読まれ、痛打を浴びた。マウントオッサの火口で再び相見えた両者だったが、レイヴンは先の戦いでのダメージが残るセイバータイガーで、シールドライガーのE-シールドを強引に突破しようとする。機体が大破してなお戦おうとするレイヴンだったが、ついに限界に達したセイバータイガーはその場に崩れ落ちた。シャドーと共に脱出したレイヴンだったが、その言葉に愛機への惜別はなかった。





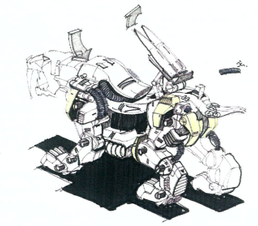


【オリジナル】サーベルタイガー 開発について

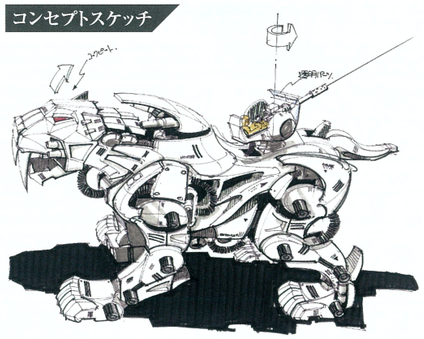
R&D 開発資料 CONCEPT

開発者コメント

アニメと同時期に販売されたセイバータイガーは「サーベルタイガー」を起源としています。このサーベルタイガーは1982年にトミー(現タカラトミー)でZOIDSが社内プロジェクトチームとして発足した後、5番目に製作された電動の四足歩行ゾイドです。ビガザウロ・マンモス・レッドホーン・アイアンコングの後に開発されています。それまでの電動歩行ゾイドは、歩行のために補助用部品が必要で、ダイキャストの重りを尻尾の先に装着し、さらに足の内側に大きな爪が付いている状態でした。帝国軍最強のネコ科のゾイドを作るにあたり、最大の開発テーマとなったのは、歩行補助の重りと爪を排除して、本物のネコ科動物の歩行を再現する事でした。動物の歩行シーンを解説した書物や動画の資料を徹底的に分析する作業と並行して、動物園に通いつめてトラの歩行を数ヶ月間のあいだ研究をつづけました。一つの回転動力が大腿部から腰歴を通して足先に伝わる、この一連の動作を、分解写真をなぞってリンク構造として設計し、機構試作を制作しては動作を確認する。その試作に当時のメインデザイナー藤野のデザインをかぶせて確認し、満足できない箇所は機構試作の設計から再び直す。ゾイドならではのこの開発作業を徹底的に繰り返すことで洗練し、「技術から生まれた」のがサーベルタイガーでした。
（二階堂 輝夫）



コンセプトスケッチ





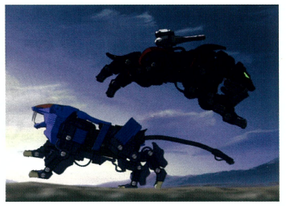
EPZ-03サーベルタイガー（1986年発売）

【40th ANNIVERSARY ZOIDS】セイバータイガー 開発について

■MPZ（マスターピースゾイド）シリーズの試み

2008年ゾイド25周年展開、リバースセンチュリーを経て、ゾイド30周年企画として水面下で進められていたのが、かつてのゾイドの動きを洗練したハイエンドモデル、マスターピースゾイドでした。マスターピースゾイドはゾイドの歩行アクションを好んでくれるファン向けの商品であり、ICやスピーカー、モーターを2つ搭載して複数の動きを行う挑戦的な商品でした。しかし2つのモーターを連動させて、「歩行」・「停止」・「咆哮」などの様々なアクションをするためにギアボックスが複雑化、当時としては高額になりすぎたことが課題となり、2商品でシリーズを終えました。その後、ゾイド35周年にて展開したゾイドワイルドでは、モーターを1つに戻し、回転カムによるタイミング制御を徹底的に詰め、歩行から動きを変化させるワイルドブラストの動きへとつながりました。





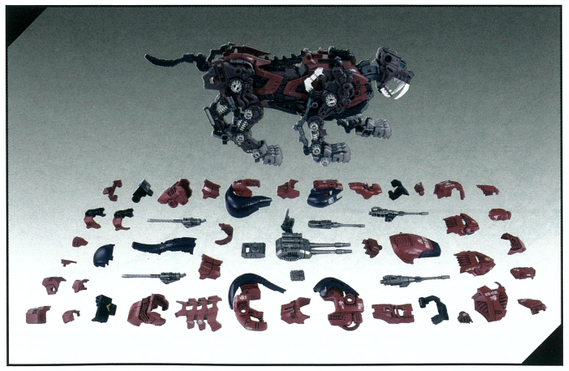
コンセプトスケッチ



開発者コメント

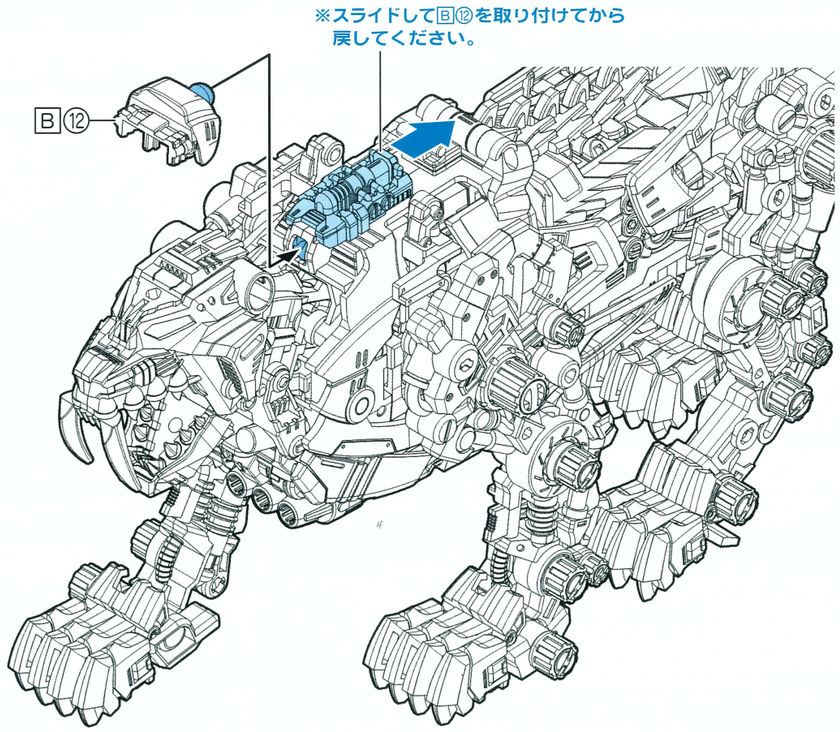
■デザイン
MPZセイバータイガーは、MPZシールドライガーで完成した「素体状態」に対して、オリジナルのサーベルタイガーのコンセプトを受け継ぐかたちでデザインを行いました。帝国ゾイドのシンボルであるフルカウルのデザインを再解釈し、骨（フレーム）をほぼ覆いかくす装甲（アーマー）の構成でデザインを行いました。別パーツとなった全身の装甲を強調するために、パーツの表面を磨きこんだ処理を行い、新解釈もいくつか盛り込んで、最終デザインとして完成したのがMPZセイバータイガーのデザインです。

■劇中再現
今回のAZ版では、アニメに登場したレイヴンとシャドーのフィギュアに加えて、レイヴン仕様機の特徴的なカラーリングを成型色や塗装で再現しています。またMPZで動いていた胸の部分をAZ版でも動かせるように、新規パーツでリンクを追加しています。玩具でのセイバータイガーの特徴は豊富な武器パーツでしたが、アニメでのセイバータイガーにおいては武器の一部しかCGモデルで再現されていませんでした。レイヴン専用機も一部の武器のみを装備した状態が特徴のため、パッケージの正面はアニメに近い状態であえて撮影を行っています。製品には旧玩具に準じた武器パーツが全て付属しているので、お好みで取り付けていただければと思います。（中瀬 崇嗣）

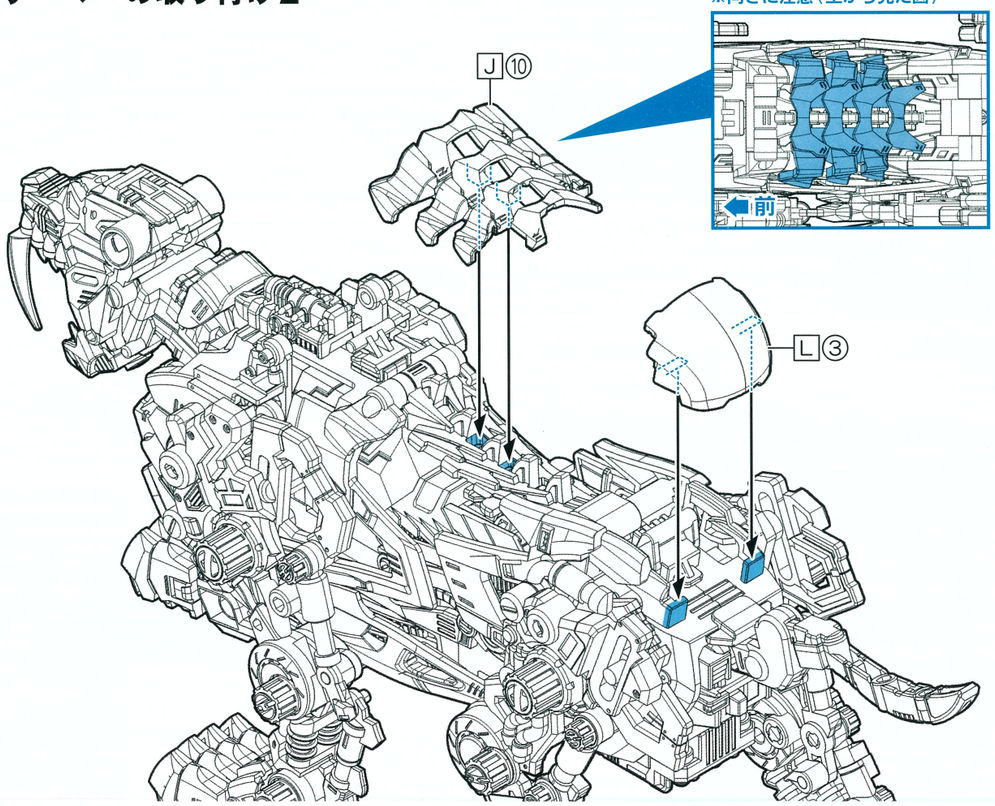

装甲を取り付ける前の「素体状態」でも各種モーターアクションを楽しむことが可能。
ここから専用の外装等を取り付けることで、セイバータイガーは完成する。

外装パーツの
取り付けは
15ページより

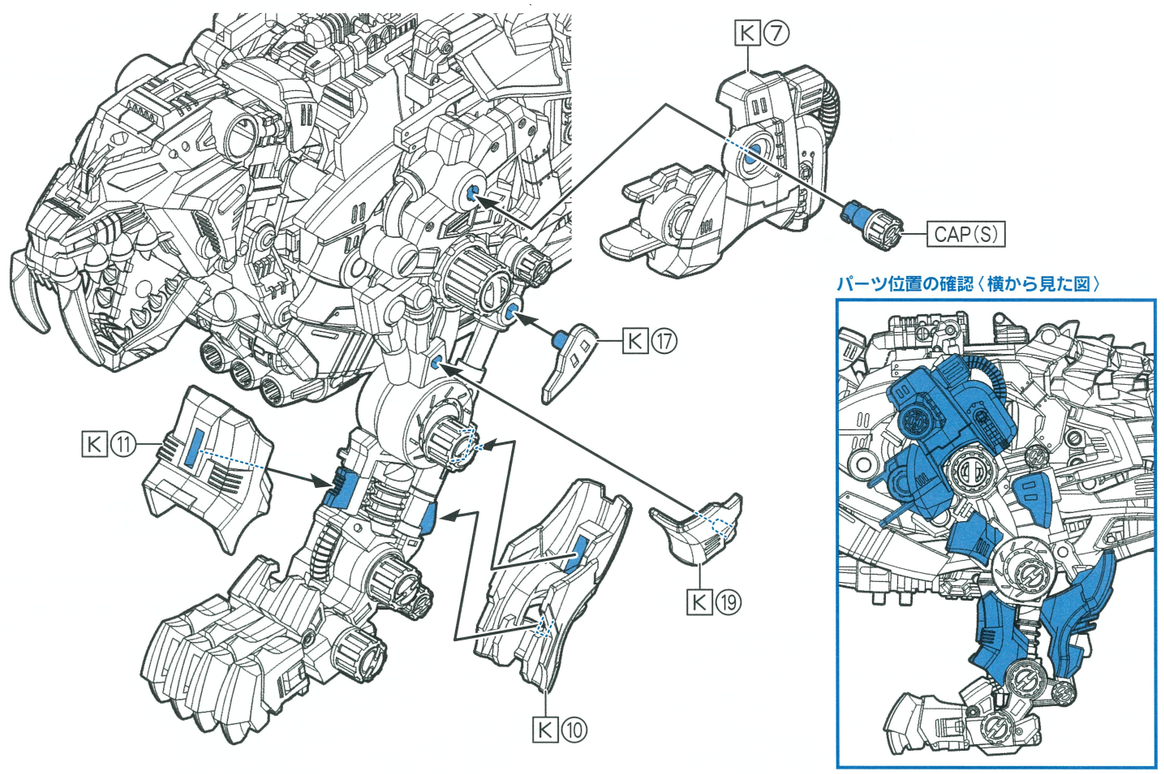
15 武器・アーマーの取り付け1



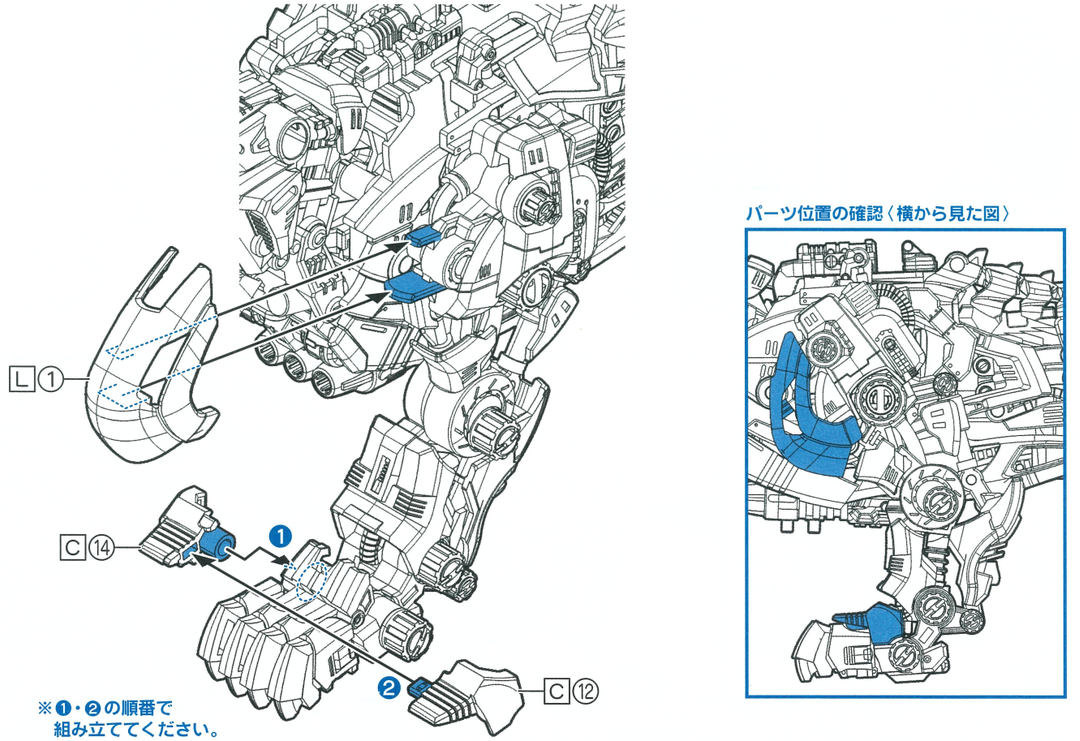
武器・アーマーの取り付け2



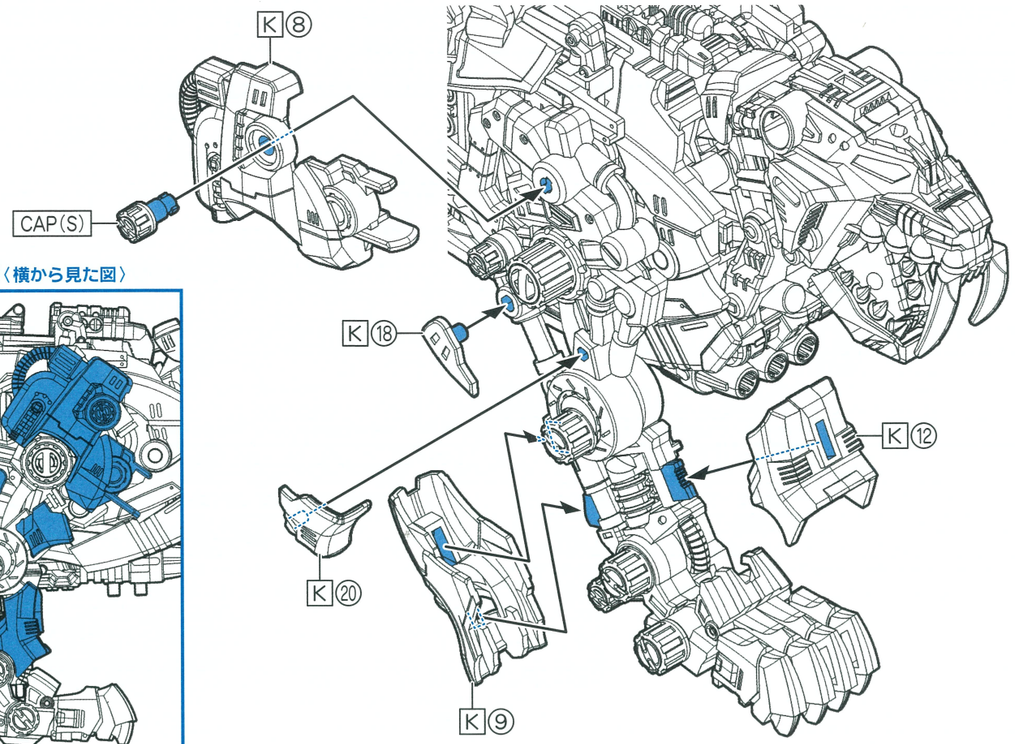
16 左前脚アーマーの取り付け1



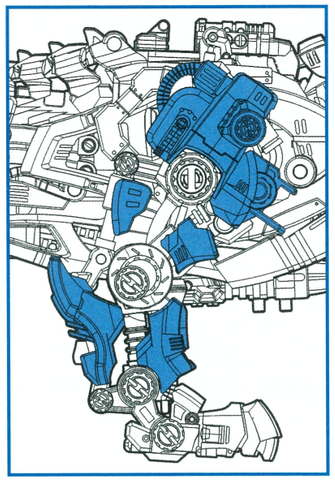
左前脚アーマーの取り付け2



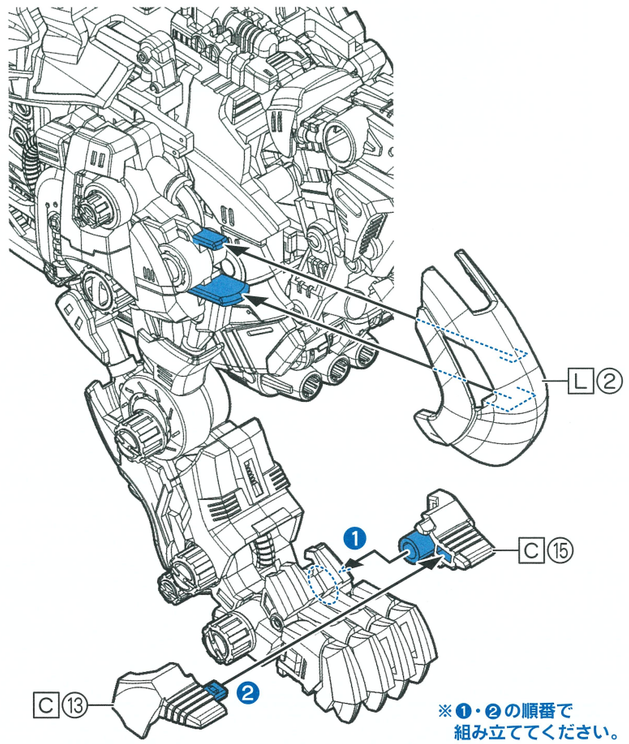
17 右前脚アーマーの取り付け1



パーツ位置の確認〈横から見た図〉

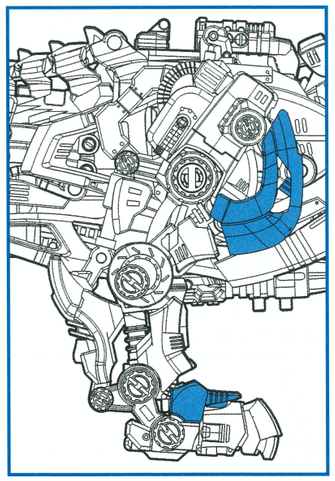


右前脚アーマーの取り付け2

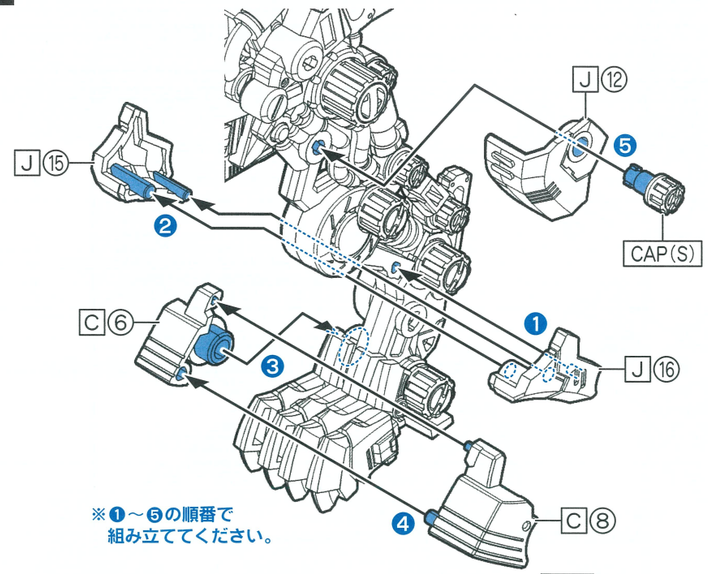


※❶・❷の順番で
組み立ててください。

パーツ位置の確認〈横から見た図〉

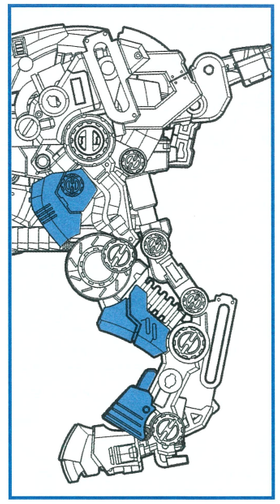


18 左後脚アーマーの取り付け1

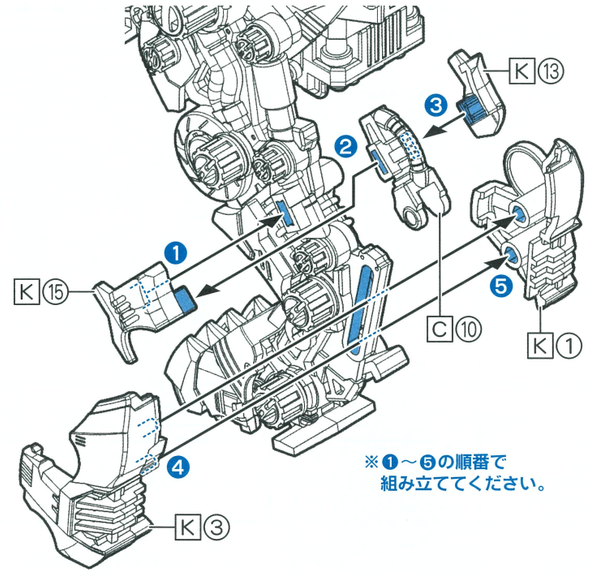


※❶～❺の順番で
組み立ててください。

パーツ位置の確認〈横から見た図〉

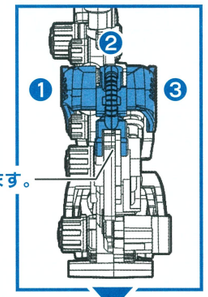


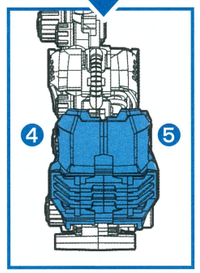
左後脚アーマーの取り付け2



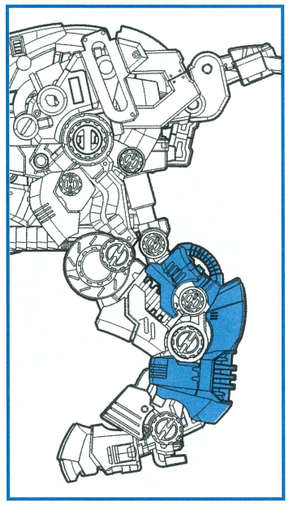
※❶～❺の順番で
組み立ててください。

パーツ位置の確認
〈後ろから見た図〉

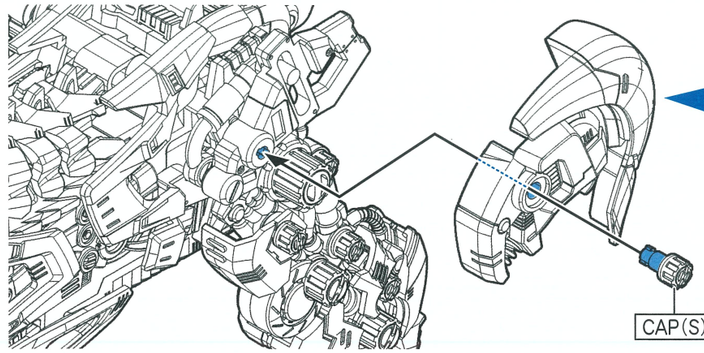


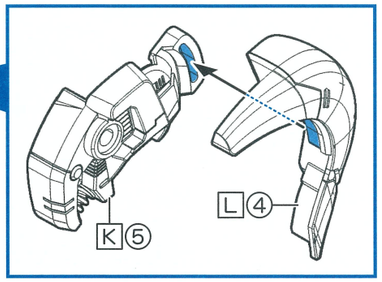


パーツ位置の確認〈横から見た図〉

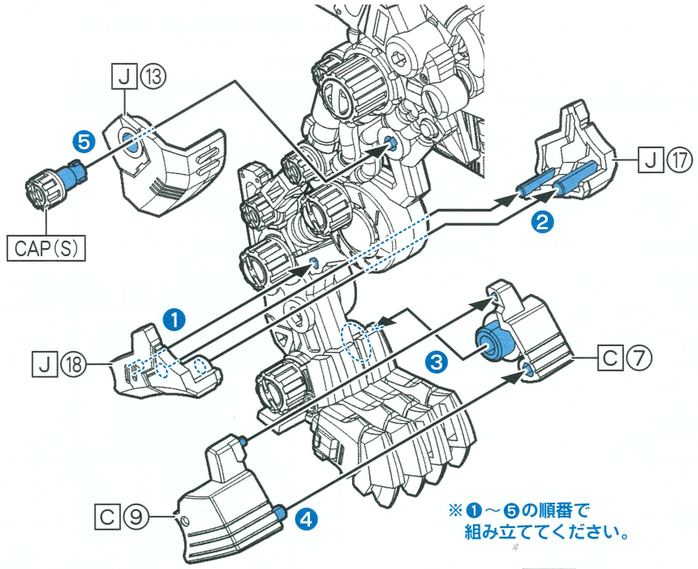


左後脚アーマーの取り付け3



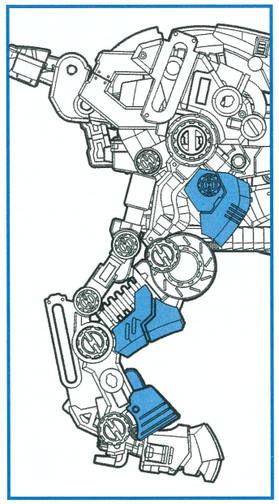


19 右後脚アーマーの取り付け1

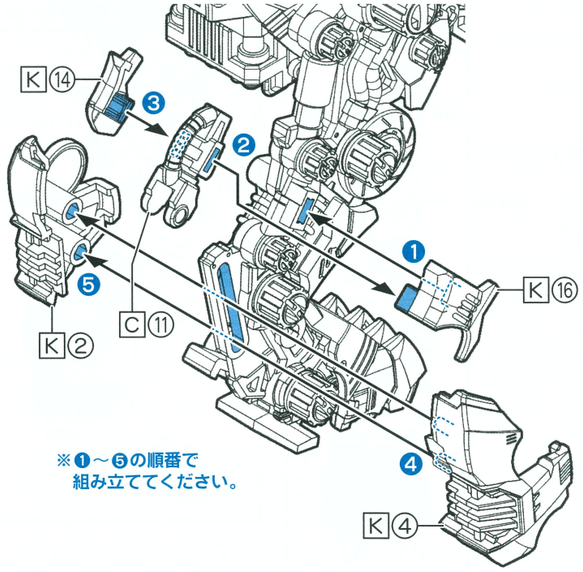


※❶～❺の順番で
組み立ててください。

パーツ位置の確認〈横から見た図〉

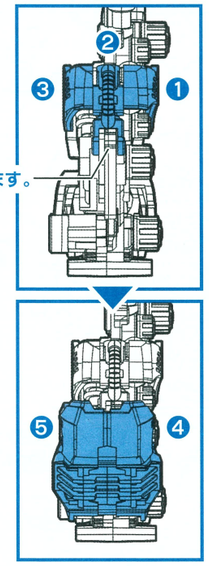


右後脚アーマーの取り付け2

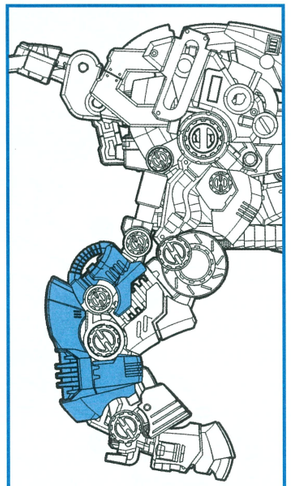


※❶～❺の順番で
組み立ててください。

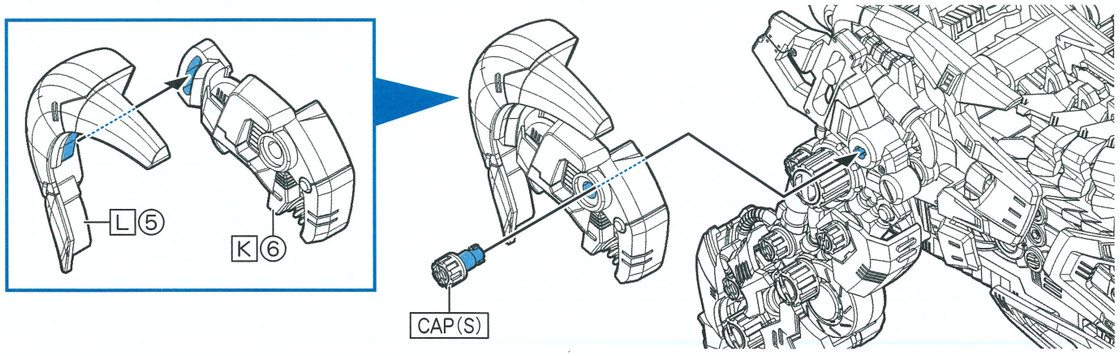
パーツ位置の確認
〈後ろから見た図〉



パーツ位置の確認〈横から見た図〉

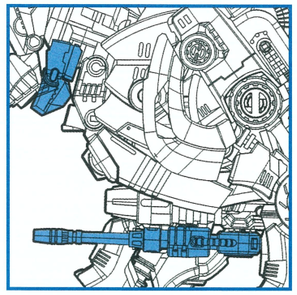


右後脚アーマーの取り付け3

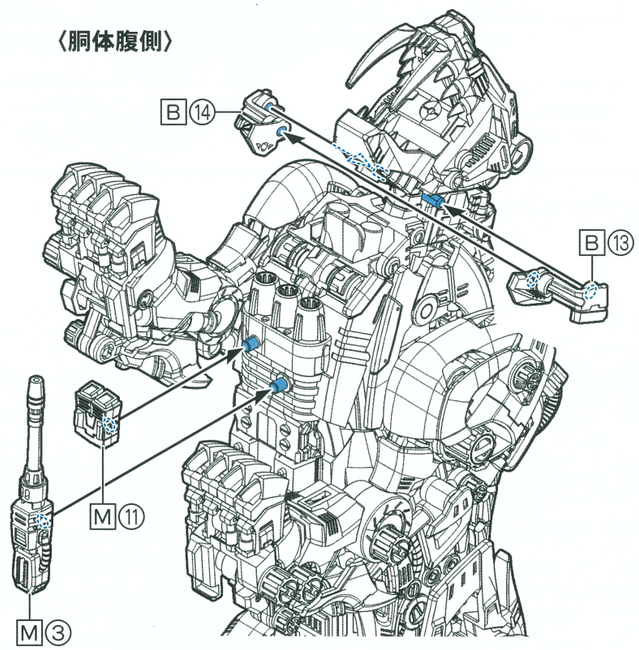


20 胸部武器・アーマーの取り付け

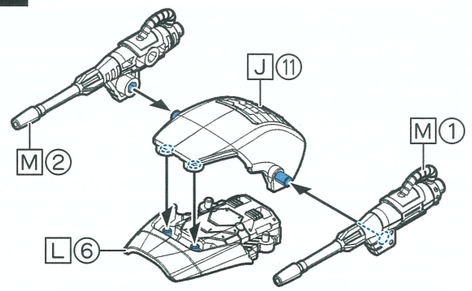
パーツ位置の確認〈横から見た図〉



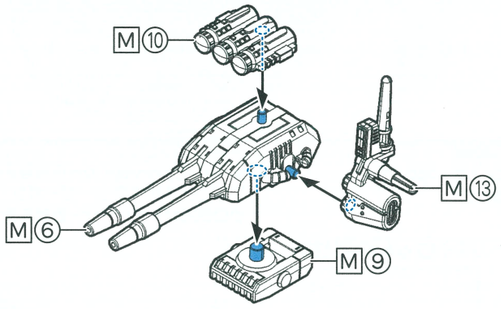
〈胴体腹側〉



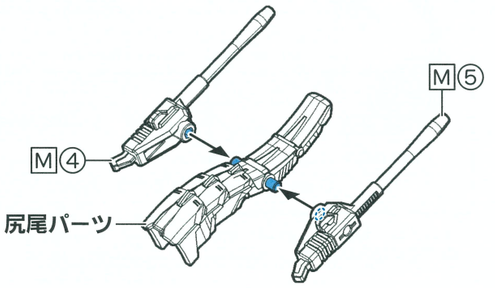
21 武器ユニット1の組み立て



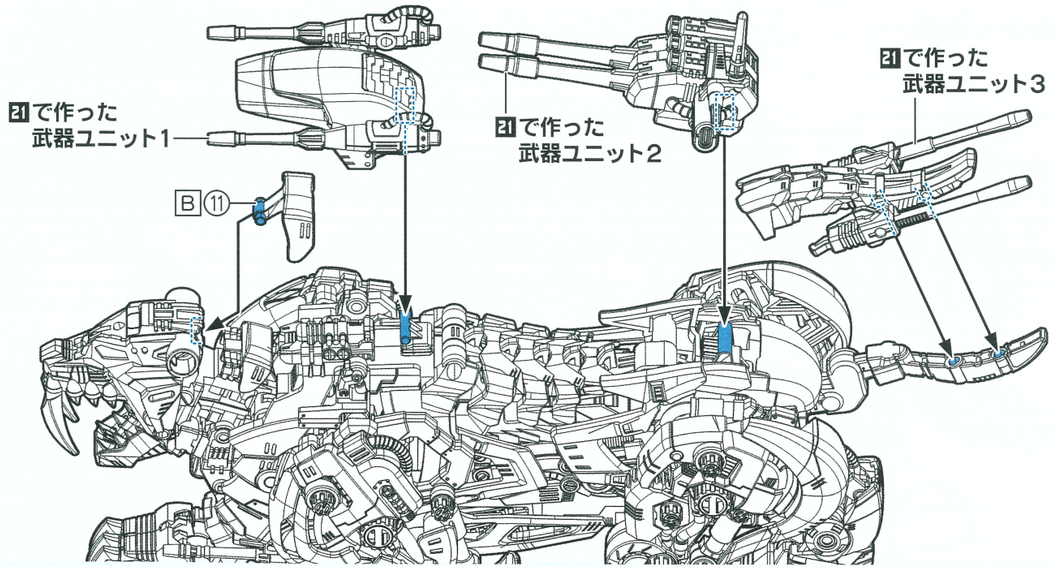
武器ユニット2の組み立て



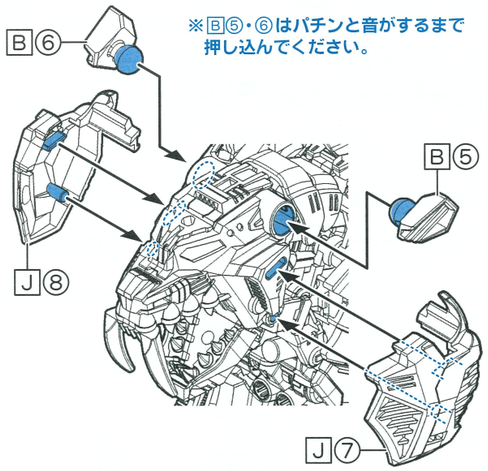
武器ユニット3の組み立て



22 武器ユニット・アーマーの取り付け

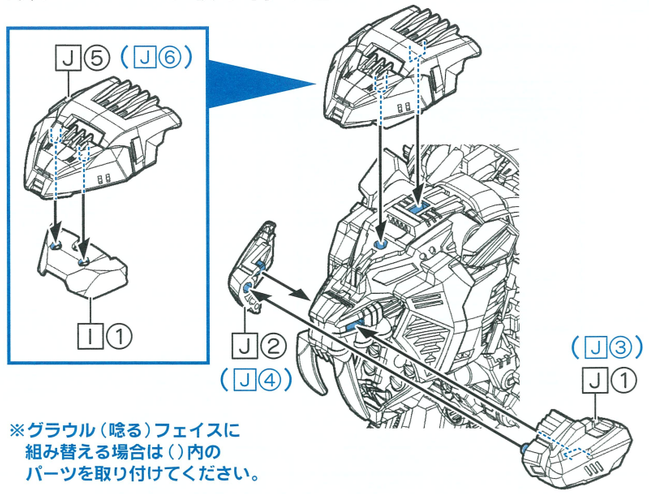


23 頭アーマーの取り付け1



※B⑤・⑥はパチンと音がするまで
押し込んでください。

頭アーマーの取り付け2

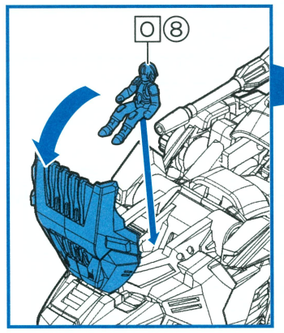


※グラウル（唸る）フェイスに
組み替える場合は（）内の
パーツを取り付けてください。

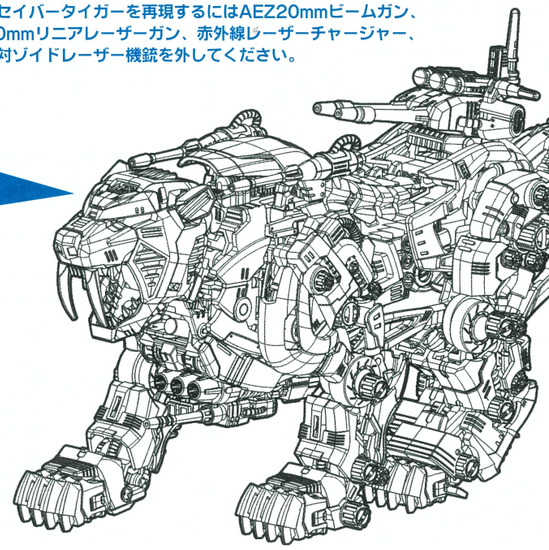
24 完成

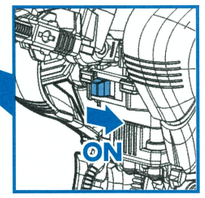
劇中のセイバータイガーを再現するにはAEZ20mmビームガン、
TEZ20mmリニアレーザーガン、赤外線レーザーチャージャー、
小口径対ゾイドレーザー機銃を外してください。

パイロットの乗せ方



※キャノピーを開き、パイロットを
乗せてください。

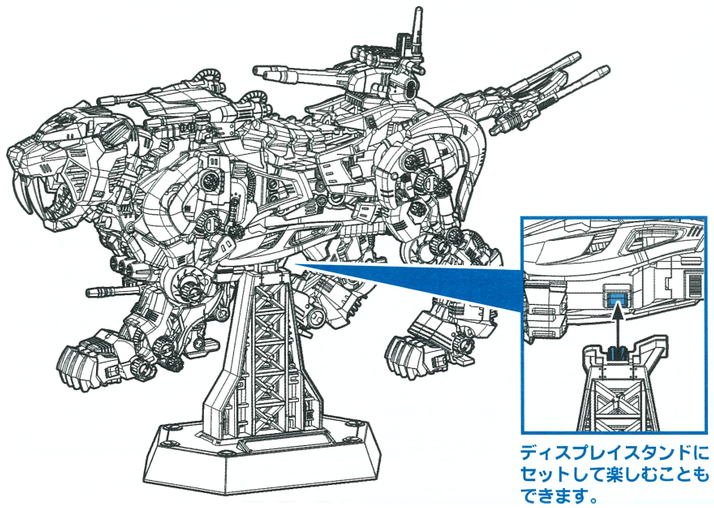




スイッチを入れると
動き出します。

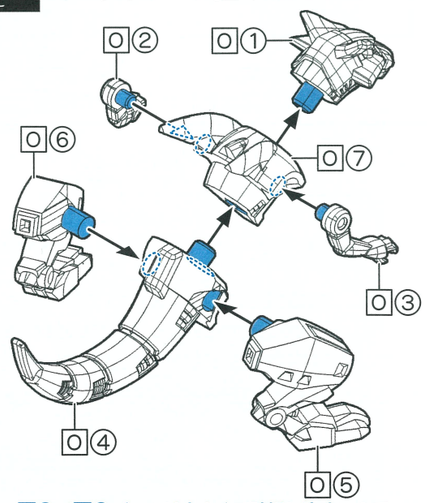
※脚・尻尾・武器等は無理に
動かさないでください。

25 動作の確認



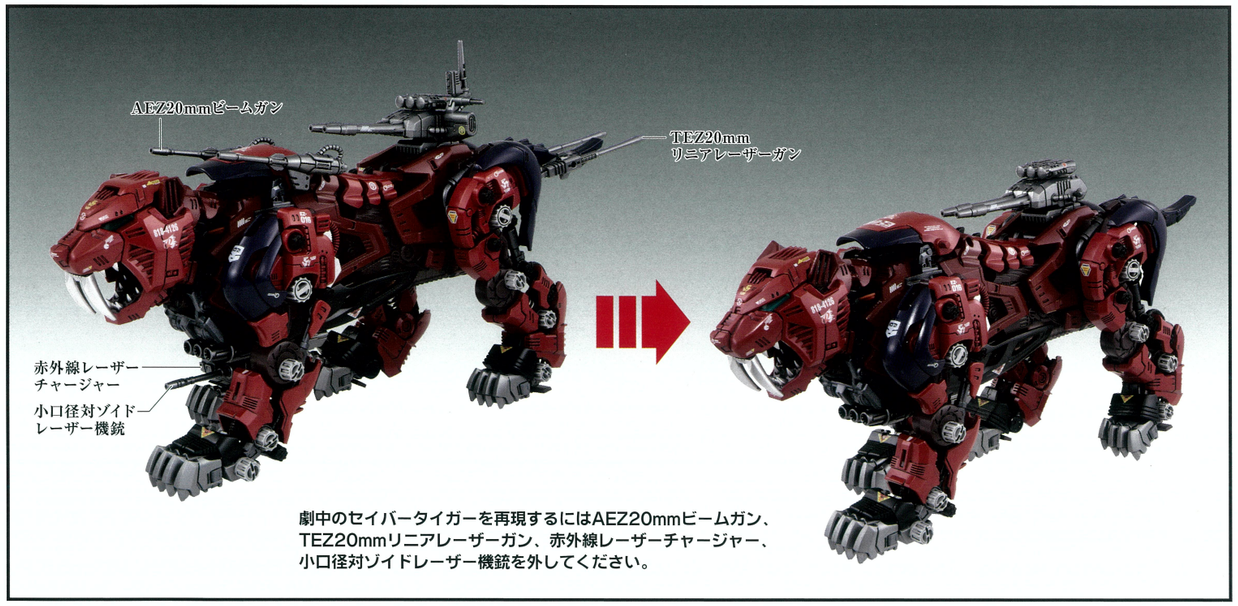
ディスプレイスタンドに
セットして楽しむことも
できます。

26 シャドーの組み立て



※O②／O③パーツは小さくて破損しやすいので、
組み立ての際には十分ご注意ください。

劇中のセイバータイガー



劇中のセイバータイガーを再現するにはAEZ20mmビームガン、
TEZ20mmリニアレーザーガン、赤外線レーザーチャージャー、
小口径対ゾイドレーザー機銃を外してください。

ラベルの貼り方

写真を参考にお好きな箇所にお貼りください。



※このラベルはディスプレイスタンド
（台座）に貼ります。

